

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1～5組：塚田）

使用教科書：（「論理国語」大修館書店）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話	聞	書	読					
1 学 期	単元【第Ⅱ部】1自己と他者 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 ・教材「『贈り物』としてのノブレス・オブリージュ」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に読みとらえている。〔(1)イ〕	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】1自己と他者 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類	・指導事項 対比の意図や具体例とまとめの関係を的確にとらえる。 ・教材「人はなぜ贈与するのか」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。〔(1)エ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふま	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】1自己と他者 【知識及び技能】 教材文の主旨を変えないように、相手に即した語彙・表現に書き換えていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、相手の予備知識に応じて情報を整理し、文章構成	・指導事項 相手に応じた適切な表現を選んで書く。 ・教材「相手を意識して書く」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・教材文の主旨を変えないように、相手に即した語彙・表現に書き換えている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、相手の予備知識に応じて情報を整理し、文章構成を工夫して、主旨を的確に伝えている。〔A(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	単元【第Ⅱ部】3メディアの変容 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 筆者の現状認識と問題意識を正確にとらえる。 ・教材「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えなが	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】3メディアの変容 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 具体例と筆者の主張との関係を的確にとらえる。 ・教材「消費されるスポーツ」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や	○	○	○	3
	単元【第Ⅱ部】3メディアの変容 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の	・指導事項 仮説を立て、主張を支えるための根拠を探して検証する。 ・教材「仮説を立てて検証する」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 ・推論のしかたについて理解を深め使っている。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明	○	○	○	6
定期考査							○	○		1	
単元【第Ⅱ部】5政治と社会 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 筆者が指摘する問題点や代替案を読み取り、主張を理解する。 ・教材「多数決を疑う」 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に	○	○	○	4	
単元【第Ⅱ部】5政治と社会	・指導事項 対比的な概念や具体					【知識・技能】					

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

国語

科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1組：塚田）（2組：佐原）（3組：佐原）（4組：塚田）（5組：塚田）

使用教科書：（「高等学校 精選 古典探究」第一学習社）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>単元 【第Ⅱ部】 説話（二）</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしていること。</p>	<p>・指導事項 説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する。</p> <p>・教材「発心集」「十訓抄」「宇治拾遺物語」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。 	○	○	○	6
<p>単元 【第Ⅱ部】 逸話</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に逸話を読み、逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしていること。 	<p>・指導事項 逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。</p> <p>・教材「不顧後患・不若人有其宝・不死之道」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>			○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ) <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に逸話を読み、逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしている。 	○	○	○	3
定期考査						○	○		1
<p>単元 【第Ⅱ部】 随筆（三）</p> <p>【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。</p>	<p>・指導事項 日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。</p> <p>・教材「枕草子」</p> <p>・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な文語のきまりにつ 				

1 学期	<p>【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしていること。</p>			<p>いて理解を深めている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の見通しをもって日記的な随筆の章段を読み、進んで登場人物同士の関係性を読み解こうとしている。 ・本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>	○ ○ ○	4
	<p>単元【第Ⅱ部】漢詩の鑑賞 【知識及び技能】 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしていること。</p>	<p>・指導事項 構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・教材「古体の詩」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)イ) ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしている。</p>	○ ○ ○	6
	<p>単元【第Ⅱ部】物語(五) 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしていること。</p>	<p>・指導事項 歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、歴史に残された人々の姿に触れる。 ・教材「大鏡」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)ウ) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) ・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。 ・本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとしている。</p>	○ ○ ○	5
定期考査					○ ○	1
	<p>単元【第Ⅱ部】史記の群像 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝を読み、内容を理解し、史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えようとしていること。</p>	<p>・指導事項 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・教材「史記」 ・一人1台端末の活用、教科書、ワークシート 等</p>		<p>【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ) 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に史伝を読み、内容を理解し、史伝</p>	○ ○ ○	13

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語総合演習

教科：国語 科目：国語総合演習 単位数：1 単位
 対象学年組：第3学年 1組～5組
 教科担当者：（1組～5組：尾崎）
 使用教科書：（ ）

- 教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】進路実現に向けて、語彙や国語常識的な知識を伸長させる。
 【思考力、判断力、表現力等】進路実現に向けて自己の良さを見つめ直し、それを文章表現できるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】時事問題に目を向け、自分なりの解決方法を模索できるようにする。

科目	国語総合演習	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
進学や就職を志すにふさわしい語彙能力と国語常識力を伸長させ、小テストによって達成度を確かめる。	進路実現に向けて、自己の良さや今までの達成度を文章化できるようにする。また、添削を通して達成度を実感する。	社会で今何が起きているのかを把握し、未来がどうなるのかを想像できるようにする。さらに、それらを正しく文章表現できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読						
1 学 期	単元「自己表現について知る」 【知識及び技能】小テストを実施し、学習の達成度を確認する。達成できない場合には復習する。 【思考力、判断力、表現力等】動画視聴をもとに、自己の良さやPRポイントを見つけ、それらをまとめた量の文章にできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】時事問題に関する問題を解き、さらに記述ができるようにする。	・参考動画、付属ワークシート ・一人1台端末の活用（ワードで記述し、提出する）		○			・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・動画をしっかりと視聴し、ワークシートの要点を記入している。 ・自己のPRポイントについてまとめた文章量が書けている。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	3
	単元「SDGs」 【知識及び技能】SDGsに関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】SDGsに関して自身に最も関心のある項目を選択し、そのことについて正しく記述する。 【学びに向かう力、人間性等】SDGsに関して自身に最も関心のある項目を選択し、そのことに関して自身の考えを述べるができるようにする。	・参考文献 ・ワークシート ・一人1台端末の活用（調べ学習）		○			・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・一人1台端末を活用した調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・SDGsについてまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べるができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	3
	定期考査	実施せず									
	単元「論理的な文章を書く」 【知識及び技能】国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】課題文に対する「反論」と「その根拠」について記述する。 【学びに向かう力、人間性等】課題文に書かれていることについて調べ学習を行いワークシートにまとめる。	・課題文 ・ワークシート ・一人1台端末の活用（調べ学習）		○			・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・一人1台端末を活用した調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・課題文に対する反論についてまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べるができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	4
	単元「自己課題を見つける」 【知識及び技能】国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】新聞記事から自己の進路に関係ありそうな項目を選び、ワークシートにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】新聞記事から自身の進路に紐づけられる項目を模索し、ワークシートにまとめる。	・ワークシート ・新聞記事 ・図書室との連携 ・一人1台端末の活用		○			・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・新聞記事を活用した調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・自己の進路についてのまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べるができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	3
	定期考査	実施せず									
2 学 期	単元「環境問題」 【知識及び技能】国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。 【思考力、判断力、表現力等】環境問題に関する自分の考えを文章にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】新聞記事から自身の進路に紐づけられる項目を模索し、ワークシートにまとめる。	・ワークシート ・図書室との連携 ・一人1台端末の活用		○			・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・自己の進路についてのまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べるができています。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。	○	○	○	7
	単元「プレゼンテーション」	・ワークシート				・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている					

期	<p>【知識及び技能】 国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の進路に関わる事項について、PowerPointを作成し、発表原稿を作成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 インターネットや書籍から自己の進路に関する項目を調べてワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室との連携 ・一人1台端末の活用 	○		<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習を行い、ワークシートの要点を記入している。 ・発表原稿についてまとめた文章量が書けており、さらに自分の意見を述べるができる。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。 	○	○	○	7
3 学 期	<p>単元「終論文を書く」</p> <p>【知識及び技能】 国語常識に関する基礎学習を行い、小テストに取り組む。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 1年間調べてきたことをポスターにまとめる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 1年間調べてきたことを論文にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・一人1台端末の活用 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・小テストに真剣に取り組み、高い点を得ている。 ・掲示したときに見やすいようにポスターにまとめている。 ・調べてきたことに関し、1800字の論文をMicrosoftのWord機能で書くことができる。 ・時事問題についてのワークシートの記入ができています。 	○	○	○	8
合計									
35									

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

地歴公民 科目 地理探究

教科: 地歴公民 科目: 地理探究

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 4 組 ~ 5 組

教科担当者: (4 ~ 5 組: 安部)

使用教科書: (地理探究 二宮書店)

教科 地歴公民 の目標:

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地形や気候など地理的な基本的知識を身に付け、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	基本的な知識を生かし、地理的な視点を持つことで産業(農業・工業)への活用を考察出来るようにする。また国際的な視野を育成し、各国、各地の特色を生かした多国間での連携にどう生かすかをグループでの議論や各人の発表を通じて、幅広い知識とともにプレゼンテーション能力も養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
				○	○	○	
1 学期	1. 地形 世界に関する諸事象の規則性、傾向性や人間による利用などについて理解する。	①世界の地形と地形をつくる力 ②プレート運動が地形に及ぼす影響 ③地震と火山 ④造山運動と世界の陸地 ⑤火山がつくり出す地形 ⑥海岸にみられる地形 ⑦さまざまな環境で形成される地形	【知識・技能】 地形がもつ特徴について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地形を生かした生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形が持つ特徴について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8
	2. 気候と生態系 気候と生態系に関わる諸事象の規則性、傾向性や気候の地域性について理解する。 大気位の大循環のしくみや影響について考察する。	①水の循環と利用/②大気の大循環と気候/③植生と土壌	【知識・技能】 地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真、雨温図の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている 【思考・判断・表現】 気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽からうける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 植生・土壌の特徴、各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	9
	3. 世界の気候区分 ケッペンの気候区分をもとに、世界の分布状況を把握し、気候要素(気温・降水量・風)が地域によって異なる現象が生じる原因を考察する。	④各気候区地域の生活		○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	4. 地球環境問題 世界で起こっている気象や地殻変動による様々な環境問題について理解し、課題と対策を考察する。	①環境問題に関する大観 ②地球温暖化の現状と対策	【知識・技能】 世界で起こっているさまざまな環境問題を知る。地球温暖化の基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 さまざまな環境問題の原因を理解したうえで、人間生活にどのような影響があるか、どのような対策があるかを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境問題への対策として、一人一人が実践できる身近な取り組みをしようとする姿勢がみられる。	○	○	○	7
	5. 日本の自然災害と防災 災害のリスクが高い国日本において、予見される災害についての課題を学び、防災意識を高める。	③地震や津波、豪雨災害など、近年国内で多発する問題の理解と対策					

<p>6. 農林水産業 世界で展開されている農業の種類について、気候の違いによる農業、政治体制の違いによる農業、経済の発達段階の違いによる農業などを学び、日本農業の将来についても考察する。</p>	<p>①農業の諸条件 ②社会の発展と農業の変化 ③グローバル化・技術革新と農業</p>	<p>【知識・技能】 世界の農業の違いについて、基礎知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済の発達段階に伴う農業の違いを学び、その変化する過程について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 食料自給率の低い日本の農業について、日本農業の将来と、輸入農作物に依存する現状の危険性と対策を自らの課題ととらえる</p>	○	○	○	6
<p>7. 資源エネルギー問題 世界に分布する様々な資源について学ぶ、中でもエネルギー資源となる化石燃料の枯渇問題や地球温暖化につながる問題を考える。 資源の乏しい日本にとって、発電方法に伴う様々な問題を知り、いずれの発電方法にも残されている課題から、今後の日本が進むべき方向性を探る。</p>	<p>①資源に乏しい日本のエネルギー問題の現状と対策 ②電力の供給方法について ③クリーンエネルギーと化石燃料、原子力エネルギーの違いと課題</p>	<p>【知識・技能】 資源の乏しい日本が、海外に依存している現状を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 化石燃料の枯渇、化石燃料の利用に伴う地球温暖化問題、代替エネルギーとしてクリーンエネルギーの過重な初期投資と発電量不足の問題、原子力エネルギー利用のメリットとリスクについて考察し、日本が選ぶべきエネルギー対策を検討する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギー問題を身近な問題と捉え、とるべき対策を考え実行する姿勢を身に付ける。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>8. 工業 様々な工業が立地する条件の違いを学ぶ。資源依存型、労働者依存型、資本依存型など、どのような条件で立地する工業に違いがあるのかを考える。 日本の工業を代表する自動車工業特徴と変遷を、国内生産と海外生産の違いなどを知る。 国際的分業が進み、サプライチェーンを確立させるメリットを考察する。</p>	<p>①社会の発展と世界の工業化 ②工業の立地 ③工業地域の形成と変化 ④自動車工業の特徴と日本の海外生産 ⑤国際分業の進展の多国籍企業 ⑥工業生産のグローバル化に伴う諸課題</p>	<p>【知識・技能】 世界各地で発達する工業の種類について、基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 様々な工業が発達する地域の特徴や違いについて、その要因を考察する。世界各国の特徴や強みを理解し、国際的に分業が進むことのメリットについて調査する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本工業の変遷に興味を持たせ、意欲的に調べる姿勢を身に付ける。人口が減少し、経済成長が停滞している過渡期を迎えた日本の工業について、将来について考えていく。</p>	○	○	○	8
<p>9. 交通・通信 目覚ましい発達をする交通、通信により、短縮している世界について理解する。</p>	<p>①世界を結ぶ交通 ②世界を結ぶ通信</p>	<p>【知識・技能】 交通網の発達と交通の効率化を図るための空港のハブ化について、また急速なインターネットの発達に伴う情報交換の利便性について知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 交通手段や通信手段の発達に伴い、新たにどのような課題が生じるかを考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信手段の発達を身近なところから実感し、学びにつなげる。</p>	○	○	○	3
<p>10. 貿易・観光 世界各地で連携を深め、貿易を進展させる協定について学ぶ。 インバウンドを増やして、観光立国を目指す日本の政策について考察する。</p>	<p>①世界を結ぶ貿易 ②世界と日本の貿易とその課題 ③世界を結ぶ観光とその課題</p>	<p>【知識・技能】 各国が輸出している特産品について知る。</p> <p>【思考・判断・表現】 各国がどのようなものを輸出しているのかを調べ、その国の特徴や経済状況を学ぶ。 衰退する日本経済の収入源として、観光立国を目指す、インバウンドを増やす政策について考察する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高校生の立場で、外国人観光客を呼び込むための政策を考える。</p>	○	○	○	4
<p>11. 人口 人口爆発を起こしている発展途上地域、人口減少に伴う少子高齢化問題に直面する日本を初めとした先進国、それぞれが抱える課題について考察する。</p>	<p>①人口の推移と分布 ②人口構成と人口転換 ③人口移動 ④人口増加地域</p>	<p>【知識・技能】 経済状況の異なる国によって抱える人口問題について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 人口ピラミッドの形状による人口構成の読解、ピラミッドの形状の変化から推察される国家の経済成長など、様々な資料から読み取る力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本が抱える人口問題について、少子高齢化の進展について、未来を担う高校生が自身の取り組みについて考える姿勢を身に付ける。</p>	○	○	○	5

定期考査			○	○		1
12. 中国 改革開放後の中国の経済発展を遂げる政策、経済を支える様々な産業の特徴、それらを可能にしている世界一の人口など、近年の中国の世界への影響力を考察する。	①改革開放による変化 ②経済発展を支える人口 ③経済発展を支える農業の地域性 ④経済・産業の発展と現代の生活 ⑤経済成長と国内外の課題	【知識・技能】 中国の改革開放とはどのようなことか、経済成長を続ける中国の産業の特徴を学ぶ。地域によって異なる農業の形態や、経済特区を中心に発達する工業の特徴を知る。 【思考・判断・表現】 中国の農業形態の違いや地域的な分布、農業と食文化の関連性について、工業の発展と生活の変化、さまざまな工業の立地の特徴について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中国の経済発展が、隣国で起きていることを認識し、自国日本への影響を身近なこととして課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
13. 朝鮮半島 14. 東南アジア 15. 南アジア 16. 西アジア・中央アジア 日本と同じアジアに位置する国々の産業を学び、経済の発達状況と、他地域の国々との経済連携について学ぶ。 また、多様な民族文化に興味を持ち、日本とのつながりについても考える。	①アジア各地の自然環境と農業・食文化 ②アジア各地の工業の発展 ③アジア各地の多様な民族文化 ④アジア各地のの成り立ちと多様な民族文化 ⑤アジア地域内外の経済関係と文化のつながり	【知識・技能】 アジア各地域の農業や工業など産業が発達し、近年目覚ましい経済成長を遂げていることを学ぶ。 【思考・判断・表現】 発達途上とされてきたアジア各地の経済成長に伴い、日本や他の地域に対しても高まる影響力について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア各国の経済発展を、アジアのリーダーシップをとるべき日本の国民として、隣国に関心を示し、課題意識を高め意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
17. 北アフリカ・サブサハラアフリカ アフリカ食の産業を学び、経済の発達状況と、他地域の国々との経済連携について学ぶ。 また、多様な民族文化に興味を持ち、日本とのつながりについても考える。	①自然環境と農業 ②歴史と文化 ③産業と経済発展 ④地域紛争と国際関係	【知識・技能】 アフリカ各国の農業や工業など産業について、発達を遂げている分野と滞る分野について、背景にある民族紛争や政治的対立などを学ぶ。 【思考・判断・表現】 アフリカ各国の農業や工業など産業について、発達を遂げている分野と滞る分野について、背景にある民族紛争や政治的対立などを考察する。また日本との連携についても関心を持つ。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本にとって遠い国のアフリカにも目を向け、日本との課題意識を高め意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
18. ヨーロッパ 19. ロシア ロシアを含むヨーロッパ各国の特徴を、自然環境・民族・文化・産業・貿易の観点から学ぶ。 気候や土壌など自然環境と農業、エネルギー資源と工業の発達、各国の特産品と貿易による世界との結びつきを考察する。	①統合するヨーロッパ ②統合の背景としての民族・文化 ③自然と農業の地域性と共通農業政策 ④エネルギー資源開発と工業 ⑤世界と結び付き貿易	【知識・技能】 ヨーロッパの多様な民族の違いについて理解を深める。 ヨーロッパ各国で発達する農業や工業など産業について、自然環境と関連付けて考える。 【思考・判断・表現】 ロシアを含むヨーロッパ各国が貿易などをもとに世界との結びつきを考える。 日本との結びつきにおいて互恵関係を築くヨーロッパへの関心を強める、 【主体的に学習に取り組む態度】 ロシアのウクライナ侵攻など、リアルタイムな問題にも触れ、関心を深めていく。各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	8

3 学 期	20. アングロアメリカ 21. ラテンアメリカ	①多様な自然環境と農業 ②多民族国家のアメリカ合衆国の多様な社会 ③ラテンアメリカの混血が進む社会。 ④エネルギー資源開発と工業 ⑤地域内外の政治的・経済的關係	【知識・技能】 世界をリードするアメリカ合衆国の国家の成り立ちを歴史的観点から探る。南北アメリカの多様な民族の違いについて理解を深める。 南北アメリカそれぞれで発達する農業や工業など産業について、自然環境と関連付けて考える。 【思考・判断・表現】 豊富な資源や発達する工業、企業的に発展を遂げる農業など、経済的にも貿易面でも世界をリードするアメリカ合衆国と、世界との結びつきを考える。 日本との結びつきにおいて互恵関係を築くアメリカへの関心を強める、 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国を中心とする資本主義国家の経済的連携、NATOを中心とした軍事同盟が、ロシアをはじめとした対立関係にある国々との緊張など、社会状況において解決が求められる課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	10
	22. オーストラリア 23. ニュージーランド	①自然と農牧業・鉱工業 ②多文化主義の社会と大都市の発達 ③世界との結びつき ④オセアニアの中のニュージーランド	【知識・技能】 オーストラリア建国や経済発展のきっかけとなったゴールドラッシュなど、歴史的な背景を深く探る。 豊かな自然を背景にオーストラリアで発達する農牧業や鉱工業について理解を深める。 【思考・判断・表現】 牧畜の変遷をその要因から考察して、日本をはじめ、世界に流通する畜産品について調べる 豊富な地下資源がありながら自国の工業の発達よりも資源の輸出に重点を置く理由などを考察する。 はじめや発達する工業、企業的に発展を遂げる農業など、経済的にも貿易面でも世界をリードするアメリカ合衆国と、世界との結びつきを考える。 日本との結びつきにおいて互恵関係を築くアメリカへの関心を強める、 【主体的に学習に取り組む態度】 日本とは距離的に近く、産業面でも経済面でも貿易を通じて深い関係を築いている。また軍事的にも日本と連携を深め、中国の海洋進出に警戒感を示す現代の状況についても、関心を持つ。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
						合計	105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴 科目 日本史探究

教科：地歴 科目：日本史探究 単位数： 単位 3 単位
 対象学年組：第 3 学年 1 組～ 3 組
 教科担当者：（1 組～3 組： 永田 義秋 ）
 使用教科書：（ 高校日本史 山川出版社 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地球的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。口

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統や文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 原始・古代 【知識及び技能】 旧石器時代～推古朝までの歴史について中国大陸・朝鮮半島との関係や自然環境の変化に着目して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 考古学上の知見や歴史的文献を多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、黎明期の日本の歴史についての課題を主体的に追究する。	・指導事項 1 日本文化のあけぼの 2 古墳とヤマト政権 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・旧石器時代～推古朝までの歴史について中国大陸・朝鮮半島との関係や自然環境の変化に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 ・考古学上の知見や歴史的文献を多面的・多角的に考察し、自分の意見が表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、黎明期の日本の歴史についての課題を主体的に追究している。	○	○	○	7
2 古代 【知識及び技能】 大化の改新以降律令国家が成立発展し平安京における摂関政治に至る歴史を東アジアの変動を踏ま理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を収集して分析し、古代国家の特色について、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 律令国家の成立から摂関政治までの社会の変化を考察することを通じて、日本の独自性について主体的に追究させる。	・指導事項 1 律令国家の形成 2 貴族政治の展開 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・大化の改新以降律令国家が成立発展し平安京における摂関政治に至る歴史を東アジアの変動を踏ま理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料を収集して分析し、古代国家の特色について、多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・律令国家の成立から摂関政治までの社会の変化を考察することを通じて、日本の独自性について主体的に追究している。	○	○	○	8
1 学期 定期考査			○	○		1
3 中世 【知識及び技能】 荘園の誕生から武士の勃興、鎌倉、室町幕府の展開について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究させる。	・指導事項 1 院政と武士の進出 2 武家政権の成立 3 武家社会の成長 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・荘園の誕生から武士の勃興、鎌倉、室町幕府の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、古代から中世への国家・社会の変容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究している。	○	○	○	11
D 近世 【知識及び技能】 織豊政権から江戸幕府成立までの経緯と江戸幕府の展開、動揺についての歴史を世界と関連付けて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 幕藩体制の社会構造と鎖国下の日本を取り巻く国際情勢を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 安土桃山時代、江戸時代の諸課題を見出し、主体的に追究させる。	・指導事項 1 近世の幕開け 2 幕藩体制の成立と展開 3 幕藩体制の動揺 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・織豊政権から江戸幕府成立までの経緯と江戸幕府の展開、動揺についての歴史を世界と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・幕藩体制の社会構造と鎖国下の日本を取り巻く国際情勢を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安土桃山時代、江戸時代の諸課題を見出し、主体的に追究できる。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
4 近代 【知識及び技能】 幕藩体制の崩壊から明治新政府の成立、その後の第一次世界大戦までの日本の政治、外交、文化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 幕末から明治、大正時代の社会の変化を欧米・アジア諸地域との関連付け、諸資料から情報を読み取り理解している。	・指導事項 1 近世から近代へ 2 近代国家の成立 3 近代国家の展開と国際関係 ・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・幕藩体制の崩壊から明治新政府の成立、その後の第一次世界大戦までの日本の政治、外交、文化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・幕末から明治、大正時代の社会の変化を欧米・アジア諸地域との関連付け、諸資料から情報を読み取り理解している。				

2 学 期	<p>解木から明治、大正時代の任雲の変化を欧米・アジア諸地域との関連付け、諸資料から情報を読み取って理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代国家成立に伴う様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究させる。</p>	1人1台端末を活用した課題 等	<p>取つくり理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・近代国家成立に伴う様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究できる。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	<p>4 近代</p> <p>【知識及び技能】 戦間期の国際協調体制から第二次世界大戦にいたる経緯について世界の動きと関連付けて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 当時の社会が抱えた矛盾と対外政策、軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大正、昭和前期の日本政府の対応を考察することを通じて、主体的に諸課題を追究させる。</p>	<p>・指導事項 1 近代の産業と生活 2 恐慌と第二次世界大戦</p> <p>・教材 教科書 ワークシート 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】 戦間期の国際協調体制から第二次世界大戦にいたる経緯について世界の動きと関連付けて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 当時の社会が抱えた矛盾と対外政策、軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・大正、昭和前期の日本政府の対応を考察することを通じて、主体的に諸課題を追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>5 現代</p> <p>【知識及び技能】 敗戦からの高度経済成長、冷戦終結までの戦後の日本の歴史を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究させる。</p>	<p>・指導事項 現代の世界と日本</p> <p>・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識・技能】 ・敗戦からの高度経済成長、冷戦終結までの戦後の日本の歴史を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・冷戦終結後の日本が抱える課題について多面的・多角的に考察し、その結果を表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、課題を見出して主体的に追究している。</p>	○	○	○	24
							合計
							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴公民科 科目 世界史探究

教科： 地歴公民科 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 3 組
 教科担当者： （1組：山崎祐貴）（2組：山崎祐貴）（3組：山崎祐貴）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書： （高校世界史（山川出版社））

教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界史へのまなざし① 【知識及び技能】 ・自然環境と人々の関係を視点にして、人類の歴史を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球の歴史と人類の歴史の関係や特性を多面的・多角的に考察し、地球の歴史における人類の歴史における位置づけとその特性を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	・指導事項 ①自然環境と人類の進化 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識及び技能】 ・地球の歴史における人類の歴史における位置づけとその特性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球の歴史と人類の歴史を比較し、人類の歴史における位置づけとその特性を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	1
世界史へのまなざし② 【知識及び技能】 ・日常生活からみる世界の歴史という観点から、特に世界各地の料理に注目し、その歴史的背景について理解している。 ・教育や余暇の観点からミュージアムの来歴について理解している。 ・日常生活と世界史のつながりという観点から、家族の歴史について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イタリア、中国、日本の料理について、その特色について考察し、生徒が日常食している各国の料理には、歴史的な背景があることを理解し表現している。 ・生徒各自が印象に残っているミュージアムを紹介しあうことで、その娯楽的要素と教育的要素について理解し表現している。 ・「子どもという存在」「近代的家族と男女の役割分担」「日本の家族」「これからの家族」について考察し、世界史のなかでの「家族」の多様性について理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	・指導事項 ①料理からみるせかいのつながり ②ミュージアムの歴史 ③家族の歴史 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	世界史へのまなざし② 【知識及び技能】 ・日本料理と総称される料理に関して、世界的に注目されている理由や、他国と比べた時の独自性について理解している。 ・ミュージアムの娯楽的要素と教育的要素の両面性を理解している。 ・家族についての考え方は、各時代の社会や経済と関連しており、変化してきたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イタリア料理・中国料理という言葉について、なぜ自国の人々はそう呼ばないかについて、多面的・多角的に考察し、説明している。 ・イタリア料理・中国料理ともに、世界的に広まっていた背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・各生徒が印象に残っているミュージアムと来館の目的を紹介しあうことで、その娯楽的要素と教育的要素について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・男女間の平等や多様な性のあり方など、現代社会の課題に着目して、これからの家族のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と異なる過去や現在と結びつく過去について探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。	○	○	○	2

<p>文明の成立と古代文明の特質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代オリエント文明やエゲ文明、南・東アジア、アメリカ大陸の神権政治の共通点や相違点を比較して、神権政治の多様性を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古代オリエント文明やエゲ文明、南・東アジア、アメリカ大陸の神権政治の共通点や相違点を比較して、神権政治の特色とその現代的影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 	<p>・ 指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 文明の誕生 ② 古代オリエント文明とその周辺 ③ 南アジアの古代文明 ④ 中国の古代文明 ⑤ 南北アメリカ文明 <p>・ 教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各地で多様な国家・文明が成立したことを理解している。古代文明で行われた神権政治の多様性を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地で行われた神権政治の共通点・相違点を比較し、その特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神権政治にもとづく専制的な政治が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	4
<p>中央ユーラシアと東アジア世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秦・漢の皇帝による政治や隋・唐の皇帝や貴族による律令政治を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秦・漢の皇帝を頂点とする社会秩序、隋・唐の皇帝や貴族による律令政治を考察し、隋・唐の国家・社会の秩序やその文化、国際関係、中央ユーラシアにおける遊牧民の社会について多面的・多角的に理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇帝・貴族による律令国家が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 	<p>・ 指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 中央ユーラシア ② 秦・漢 ③ 隋・唐 <p>・ 教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9世紀までの中央ユーラシア・東アジアの政治・文化・宗教についてその特徴を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9世紀までの中央ユーラシア・東アジアの政治・文化・宗教について、他地域と比較しながら多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皇帝・貴族による律令国家が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	4
<p>南アジア世界と東南アジア世界の展開</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南アジアにおける諸王朝・地方王権の展開と社会の様子について、仏教やヒンドゥー教の影響を踏まえて理解している。東南アジアにおける「海の道」の政治的・文化的影響について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南アジアにおける諸王朝・地方王権の展開と社会の様子について、仏教やヒンドゥー教の影響を踏まえて理解し、宗教に求められた役割について多面的・多角的に理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。 	<p>・ 指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 仏教との南アジアの統一国家 ② インドの古典文化とヒンドゥー教 ③ 東南アジア世界の形成と展開 <p>・ 教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南アジアの人々が仏教に対して、解脱などの内面的な信仰だけでなく、政治的文化的な働きを求めていたことを理解している。インド分裂・混乱期に南アジア世界のまとまりがヒンドゥー教によって維持されたことを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南アジアにおける諸王朝・地方王権の展開に際して、仏教やヒンドゥー教が果たした役割について、また、東南アジアと「海の道」の政治的・文化的関係について多面的・多角的に理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仏教やヒンドゥー教が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための宗教のあり方を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前6世紀から7世紀の西アジアにおいてイラン系の人々が形成した国家・社会、文化、地中海沿岸においてギリシア人が形成した国家・社会、文化、地中海を支配したローマ帝国の形成と、その政治的・文化的影響について理解している。 	<p>・ 指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ① イラン諸国家の興亡とイラン文明 ② ギリシア世界 ③ ローマ帝国とキリスト教 <p>・ 教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラン系諸国家の政治・経済・文化の共通点や相違点を理解している。 ・ ギリシア民主政と現代の政治制度との違いを理解している。 ・ 元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、 				

1 学 期	<p>人か形成した社会・文化、キリスト教が広がったローマ社会の特色について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アケメネス朝、パルティア、ササン朝の国家・社会、文化の特徴を比較して、その共通点や相違点について、アテネにおける民主政への歩みとその特色やギリシア民主政の歴史的意義について、ローマ帝国の支配方法やキリスト教がローマ帝国の公認・国教となったことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン人やローマ人が形成した帝国が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 	<p>ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>帝国の強大さの表裏など長期に繁栄した要因を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皇帝や権力者が帝国の維持のためキリスト教を保護したことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン系諸国が行った戦争、交易、宗教などに着目し、その政治・経済・文化について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・参政権や制度に着目して、ギリシアと現代の政治制度を比較し、その違いを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・元首政、専制君主政、東西分割と柔軟に対応したことや、共和政の伝統を尊重・維持してきたこと、帝国の強大さの表裏など支配方法を多面的・多角的に考察し、帝国が長期に繁栄した要因を判断する。 ・経済的格差の拡大や社会の混乱、ゲルマン民族の大移動とその影響に着目して、皇帝や権力者が帝国の維持のためにキリスト教を保護しようとしたことを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラン人やローマ人が形成した帝国が、人々の生活を安定させ豊かにするものであったのか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	7
	<p>イスラーム教の成立とヨーロッパ社会の形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の誕生と、その領域拡大の状況を分析し、イスラーム教が社会をどのように変えたのかを理解する。 ・キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の経緯を分析し、各国ごとの特徴を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の誕生と西アジア、北アフリカへの領域拡大の経緯について、各地域の政治、文化の変容や現代へのつながりについて改めて定義し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の状況を、多面的・多角的に考察し改めて定義することで、ヨーロッパ世界の多様性を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 ・ヨーロッパ世界形成の意味を、西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究しようとしている。 	<p>・指導事項 ①アラブの大征服とカリブ政権の成立 ②ヨーロッパ世界の形成</p> <p>・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>イスラーム教の成立とヨーロッパ社会の形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教が西アジア、北アフリカへの領域拡大と並行して伝播した経緯と、各地域の政治、文化の変容について理解している。 ・キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界の形成の状況と多様性を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教が西アジア・北アフリカを変容させていく状況を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・キリスト教を軸とするヨーロッパ世界の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらたにイスラーム世界に組み込まれた地域の社会の変化が、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか、また人々の生活を安定させ豊かにするものであったか話し合い、より良い社会形成のための政治のあり方を主体的に追究しようとしている。 ・ヨーロッパ世界形成の意味を、西ヨーロッパとビザンツ帝国を宗教や政治体制のあり方から比較、関連付けて追究しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム勢力の西アジア・北アフリカ・イベリア半島への拡大と影響について理解する。 ・西アジアの王朝の変遷と特徴を分析し、イスラーム教の影響について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教が各地に伝播し、社会や文化に影響を与えたことを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・イスラーム教の拡大が各地域で文化の融合を進めた状況を定義し、イスラームの影響の多様性について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 	<p>・指導事項 ①イスラーム教の諸地域への伝播 ②西アジアの動向</p> <p>・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教が、アラブ＝ムスリムの遠征や交易などを通して各地に伝播し、社会や文化に影響を与えたことを理解している。 ・イスラーム教の拡大が、各地域で文化の融合を進めたことを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教の伝播とその影響について多面的・多角的に考察し、その意味を表現している。 ・イスラーム教の伝播が西アジア・北アフリカ・イベリア半島の社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の拡大が、伝播した地域にどのような影響を与えたか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、イスラーム教の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	3
	ヨーロッパ世界の変容と展開	・指導事項	【知識及び技能】				

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西ヨーロッパ世界におけるローマ＝カトリック教会の影響について理解する。 ・東ヨーロッパ世界の特色を分析し、歴史的意義を理解する。 ・14世紀以降の西ヨーロッパ世界の変容を分析し、理解する。 ・中世西ヨーロッパの文化の特徴を分析し、その背景となる社会事象を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西ヨーロッパ中世の枠組みや体制の形成について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・スラヴ人の国家形成やビザンツ帝国の勢力衰退について多面的・多角的に考察し多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世西ヨーロッパの特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・古代ギリシア文化やイスラーム文化の流入と中世文化に与えた影響を定義し、中世西ヨーロッパの文化の多様性について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。 	<p>①西ヨーロッパの封建社会 ②東ヨーロッパ世界 ③西ヨーロッパ世界の変容 ④中世文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・教皇権の伸長、西ヨーロッパの拡大運動と商業の発達、中世都市の誕生など、西ヨーロッパ中世の枠組みや体制が形成されたことを理解している。 ・スラヴ人の国家形成の過程やビザンツ帝国の勢力衰退の状況について理解している。 ・中世西ヨーロッパの特徴である、封建制、王権の弱体状況を理解するとともに、それらが崩れて近代国家形成へ向かう状況を理解している。 ・古代ギリシア文化やイスラーム文化の流入と中世文化に与えた影響を定義し、中世西ヨーロッパの文化の多様性を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西ヨーロッパの封建社会の中で展開した、教会制度・拡大運動・商業の発達の状況を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ロシアの状況、西、東スラヴ人の状況を、受容した宗教に関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世西ヨーロッパの特徴がくずれて近代国家の形成が始まる状況を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中世西ヨーロッパの文化のあり方を、ビザンツ帝国やイスラーム圏との関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ世界が、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	6
<p>東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宋とアジア諸地域のつながりや影響を分析し、宋の東アジアにおける影響力について理解する。 ・モンゴル帝国の拡大と影響について分析し、モンゴル帝国の歴史的意義を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや周辺所民族の侵入について多面的・多角的に考察し、中国社会が周辺諸地域に与えた影響について表現している。 ・モンゴル帝国の形成により東西交易のネットワークが形成されたことを考察し、大都を軸にアジアを中心とした「世界の一体化」が進められたことを理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国が、ユーラシア大陸の広域に勢力圏を広げた状況を考えると、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。 	<p>・指導事項</p> <p>①宋とアジア諸地域の自立化 ②モンゴルの大帝国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐から宋にかけて、支配者層が入れ替わり、周辺所民族の侵入が中国社会に与えた影響を多面的に理解している。 ・モンゴル帝国の形成により東西交易のネットワークが形成され、大都を軸にアジアを中心とした「世界の一体化」が進められたことを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐から宋にかけての支配者層の入れ替わりや、周辺所民族との関りが中国社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・モンゴル帝国がユーラシア大陸から東西に広がり、「世界の」一体化が進められた状況多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国が、ユーラシア大陸の広域に勢力圏を広げた状況を考えると、地域ごとにどのような特徴を持つのか、また、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、中世ヨーロッパ世界の特徴や意義を主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>大交易・大交流の時代</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアや東南アジアに樹立された国家の特徴を分析し、明との関連性について理解する。 ・ポルトガルとスペインを軸にヨーロッパの海外進出を分析し、「世界の一体化」へつながる状況を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・指導事項</p> <p>①アジア交易世界の興隆 ②ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明朝の朝貢貿易が展開される中、周辺諸国との関係や異文化の流入などが中国へもたらした変化の多様性について理解している。 ・ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となり、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパがしきりに海外進出を進めた16世紀の 				

<p>・明朝の朝貢貿易が展開される中、周辺諸国との関係や異文化の流入など中国へもたらされた変化を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・ポルトガルやスペインの海外進出の本格化が、「世界の一体化」の端緒となることを多面的・多角的に考察し再定義することで、のちの本格的な世界の結びつきへとつながってゆくことを理解し表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・明朝が形成した朝貢貿易と中国の交易のあり方を、ヨーロッパの交易のあり方と比較、関連付けて主体的に追究しようとしている。</p>		<p>東南アジア、東アジアの社会の特色や多様性について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・ポルトガルやスペインの海外進出の状況の違いを比較し、多面的・多角的に考察し、改めてポルトガル、スペインの海外進出について表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・モンゴル帝国の拡大が交易に与えた影響や、人々の生活に安定や豊かさをもたらすものであったのか話し合い、モンゴル帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・明朝が形成した朝貢貿易と中国の交易のあり方を、ヨーロッパの交易のあり方と比較、関連付けて主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>アジア諸帝国の繁栄</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・オスマン帝国の領域拡大の経緯を分析し、どのような統治がおこなわれたのか、その実態と影響を理解する。</p> <p>・ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒の統治のあり方を分析し、その実態と経緯を理解する。</p> <p>・清朝の漢民族への統治政策を分析し、その目的と特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・オスマン帝国の領域拡大の状況と影響を、多面的・多角的に考察して再定義し、オスマン帝国が地中海沿岸諸国にもたらした影響の多様性について表現している。</p> <p>・ヒンドゥー教徒に対する統治のあり方を分析し、その特徴や効果について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・清朝の対漢民族に対する統治の実態を、多面的・多角的に考察し、再定義することで、清朝の対異民族政策の目的について表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・オスマン帝の支配領域の拡大が、ヨーロッパ社会や西アジア世界に与えた影響を話し合い、オスマン帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・清朝の領域拡大と当地の方法について確認するとともに、ヨーロッパ文化の流入による社会の変容や変容しなかったことについて主体的に追究しようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>②ムガル帝国の興隆</p> <p>③清代の中国と隣接諸地域</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>Formsを活用した課題</p> <p>1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・オスマン帝国の領域拡大の状況と影響を、理解している。</p> <p>・ムガル帝国のヒンドゥー教徒に対する統治の在り方の経緯と変化について理解している。</p> <p>・清朝の対漢民族に対する統治の、優遇と弾圧の両面性を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・オスマン帝国の領域拡大と支配の実態について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・ムガル帝国のヒンドゥー教徒への統治の時代による変化とその影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・清朝の対漢民族統治の、優遇と弾圧の両面性について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・オスマン帝の支配領域の拡大が、ヨーロッパ社会や西アジア世界に与えた影響を話し合い、オスマン帝国の領域の拡大の持つ意味を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・清朝の領域拡大と当地の方法について確認するとともに、ヨーロッパ文化の流入による社会の変容や変容しなかったことについて主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・14世紀にイタリアでおこったルネサンス運動の特徴を分析し、ルネサンス運動の意義について理解する。</p> <p>・宗教改革の特色と影響を分析し、その後のカトリック改革や宗教対立の内容について理解する。</p> <p>・主権国家体制の特色と成立について分析する。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①ルネサンス</p> <p>②宗教改革</p> <p>③主権国家体制の成立</p> <p>④オランダ・イギリス・フランスの台頭</p> <p>⑤北欧・東欧の動向</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・ルネサンス運動の多様性と、後のヨーロッパ社会や現代に与えた影響を理解している。</p> <p>・宗教改革の意義とカトリック改革やヨーロッパの宗教対立に与えた影響を理解している。</p> <p>・主権国家体制の成立の意義と三十年戦争の与えた影響を理解している。</p> <p>・オランダ・イギリス・フランスの国制の特徴の多</p>				

<p>とともに、絶対土政の存在意義について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オランダ・イギリス・フランスの国制の特色や台頭した理由について分析するとともに、それぞれの歴史的経過を理解する。 ・16～18世紀の北欧・東欧の興亡や為政者の統治の特色を分析するとともに、啓蒙専制君主と呼ばれる体制を導入した意義について理解する。 ・科学革命と啓蒙思想の特色を分析するとともに、現代の科学や思想に与えた意義を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し改めてルネサンス運動の多様性と、ヨーロッパ社会や現代に与えた影響について表現している。 ・宗教改革を多面的・多角的に考察し、宗教改革を定義することで宗教改革の多様性と世界に与えた影響について表現している。 ・主権国家体制の成立について多面的・多角的に考察し、主権国家体制が世界に与えた影響について表現している。 ・オランダ・イギリス・フランスの国制を多面的・多角的に考察し、多様性について表現している。 ・16～18世紀の北欧・東欧の興亡や為政者の統治について多面的・多角的に考察し、啓蒙専制政治を導入しヨーロッパ国際政治における地位を向上させたことについて表現している。 ・科学革命と啓蒙思想について多面的・多角的に考察し、ヨーロッパ社会や現代社会に大きな影響を与えたことについて表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。 	<p>⑥科学革命と啓蒙思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材 ・教科書 ・ワークシート ・Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>多様性を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16～18世紀にかけて、北欧・東欧でおこった興亡や歴史の多様性を理解している。 ・科学革命と啓蒙思想について特色や多様性を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス運動を多面的・多角的に考察し、改めてルネサンス運動を定義している。 ・ヨーロッパ各地でおこされた宗教改革とカトリック改革や宗教対立がヨーロッパ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し、宗教改革について表現している。 ・主権国家体制と絶対王政についてイタリア戦争や三十年戦争などの戦争と関連付けながら多面的・多角的に考察し、ヨーロッパの主権国家体制について表現している。 ・各国の海外進出とその結果に与えた影響を多面的・多角的に考察し、ヨーロッパ諸国がそれぞれのよう国家体制を築いていったかについて表現している。 ・16～18世紀の北欧・東欧でおこった興亡を多面的・多角的に考察し、啓蒙専制主義をはじめとする政治体制をどのように築いていったかについて表現している。 ・科学革命と啓蒙思想について多面的・多角的に考察し、科学革命と啓蒙思想について表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権国家体制の形成と地球規模の交易が、いかに人々の生活を豊かにし安定させるものであったのかを話し合い、現代の社会において、よりよい社会や国際関係のあり方を主体的に探究している。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>産業革命と環大西洋革命</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命の特色と産業革命を可能にした条件を分析し、産業革命が与えた影響を理解する。 ・アメリカの独立と発展の特色を分析し、アメリカの独立の意義を理解する。 ・フランス革命とナポレオンの支配の経過を分析し、フランス革命とナポレオンの支配の意義を理解する。 ・中南米諸国の独立の特色を分析し、環大西洋革命の意義を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命について多面的・多角的に考察し、改めて産業革命を定義することで、産業革命の多様性について表現している。 ・アメリカの独立を多面的・多角的に考察し、改めてアメリカの独立を定義することで、アメリカの独立の多様性について表現している。 ・フランス革命とナポレオンの支配を多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命とナポレオンの支配を定義することで、多様性について表現している。 ・中南米諸国の独立とその背景を多面的・多角的に考察し、環大西洋革命を定義することで、環大西洋革命の多様性について理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ①産業革命 ②アメリカ合衆国の独立と発展 ③フランス革命とナポレオンの支配 ④中南米諸国の独立 ・教材 ・教科書 ・ワークシート ・Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命について特色や多様性を理解している。 ・アメリカ独立の特色や多様性について理解している。 ・フランス革命とナポレオンの支配の特色や多様性について理解している。 ・中南米諸国の独立と環大西洋革命の特色や多様性について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・アメリカの独立と発展について多面的・多角的に考察し、改めてアメリカの独立と発展について表現している。 ・フランス革命とナポレオンの支配について多面的・多角的に考察し、改めてフランス革命と発展について表現している。 ・中南米諸国の独立について多面的・多角的に考察し、改めて中南米諸国の独立と環大西洋革命について表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命と環大西洋革命が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>
<p>イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀前半のヨーロッパの国際秩序を規定した、ウィーン体制の構築と解体を理解する。 ・列強体制の統制が弱まり、複雑な 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ①ウィーン体制 ②列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ③アメリカ合衆国の発展 ④19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制のもとで構築されたヨーロッパの国際秩序の特質と、その崩壊の過程を理解している。 ・列強体制が弱まった19世紀後半の各国の状況と、ドイツ統一後に再構築された列強体制のもとでのヨーロッパの国際情勢と、国際運動やヨーロッパの拡大について理解している。 	<p>○ ○ ○</p>	<p>7</p>

2
学
期

<p>動きをみせた、19世紀後半のヨーロッパの国際情勢を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土を拡大し、南北戦争を経て世界最大の工業国となった、アメリカ合衆国の発展を理解する。 ・市民文化と国民文化、急速に発展した近代諸科学、近代国家の発展にともなう大都市の文化を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制が構築した国際秩序の特質とその崩壊を多面的・多角的に考察し、19世紀の資本主義の発達との関係について表現している。 ・19世紀後半の国際情勢と、ドイツ統一後に再建された列強体制再建の影響を多面的・多角的に考察し、国際運動の進展の関係について表現している。 ・領土拡大と南北の対立、南北戦争について多面的・多角的に考察し、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について表現している。 ・市民文化と国民文化、近代諸科学と近代哲学の発展、探検・調査の進展、大衆文化の誕生について多面的・多角的に考察し、19世紀の欧米文化について表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求し定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材教科書ワークシートFormsを活用した課題1人1台端末を活用した課題 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・領土の拡大にともなう、双隸制をめぐる南北の対立を背景に勃発した南北戦争の経過と、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について理解している。 ・市民文化と国民文化、近代諸科学と近代哲学の発展、探検・調査の進展、大衆文化の誕生など、多岐にわたる19世紀の欧米文化を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制の形成とその特質、ウィーン体制が19世紀のヨーロッパに及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その歴史的意義を表現している。 ・クリミア戦争後のヨーロッパ各国の情勢や、ビスマルクが再構築した列強体制、国際運動やヨーロッパの拡大について多角的・多面的に考察し、ヨーロッパの国際情勢の変化について表現している。 ・領土の拡大に伴う南北の対立を背景として勃発した南北戦争と、19世紀後半のアメリカ合衆国の発展について多角的・多面的に考察し、表現している。 ・市民文化と国民文化、近代諸科学と近代哲学の発展、探検・調査の進展、大衆文化の誕生について多面的・多角的に考察し、19世紀の欧米文化の特色を表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国が形成した国民国家は、欧米諸国の人々の暮らしを安定させ、豊かな社会を築いたかを話し合い、より良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。 	○	○	○	6
<p>アジア諸地域の動揺</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸民族の自立によるオスマン帝国の動揺と列強の勢力拡大で、西アジア地域がどのように変容したかを理解する。 ・インド、東南アジア諸地域が、ヨーロッパ諸国の植民地支配を受けようになった過程を理解する。 ・欧米諸国の開国要求に対する清朝・日本・朝鮮各国の対応と、その後の東アジアの国際関係を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の列強への経済的従属と諸改革、ロシアとイギリスの進出を受けたイランとアフガニスタンの状況を多面的・多角的に考察し、西アジアの地域の変容について表現している。 ・インドがイギリスの支配下に入った過程と社会の変容、東南アジアにおけるヨーロッパ諸国の植民地経営を多面的・多角的に考察し、南アジア・東南アジアの植民地化について表現している。 ・清朝が不平等条約を締結する過程とロシアの東進の状況、開国後の日本の対外進出を多面的・多角的に考察し、東アジアの国際秩序の変容について表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項①第2次産業革命と帝国主義②世界再分割と列強の対立③アジア諸国の変革と民族運動 ・教材教科書ワークシートFormsを活用した課題1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の弱体化と東方問題、列強の経済的支配と帝国が取り組んだ近代化をめざす諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いに巻き込まれたイラン、アフガニスタンの状況を理解している。 ・当初、交易を求めたヨーロッパ諸国が、やがてインド・東南アジア諸地域を植民地化した過程とインド・東南アジア社会の変容、独立を維持したタイの状況について理解している。 ・清朝が英仏の圧力を受けて不平等条約を締結し、ロシアと新たな国境を定めた経過、明治政府が進めた近代化、日本の対外進出がもたらした新しい東アジアの国際秩序を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列強の経済支配の進展と、オスマン帝国が取り組んだ諸改革、ロシアとイギリスの勢力争いが展開したイランとアフガニスタンの情勢について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・ヨーロッパ諸国がインド、東南アジアの植民地化をどのように進め、インド・東南アジアがどのように変容したか、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・ヨーロッパ諸国の進出と反乱のなかで近代化にとりくんだ清、近代化とともに海外進出を進めた日本、日中両国が勢力を争った朝鮮について、多角的・多面的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・19世紀のヨーロッパ諸国の干渉や植民地政策がアジアの諸地域に及ぼした影響と、アジア諸地域の対応について話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。 	○	○	○	6
<p>帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次産業革命とその影響、列強がアジア・アフリカに展開した帝国主義的政策と、国内の状況を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項①第一次世界大戦とロシア革命②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国③アジア・アフリカ地域の民族運動 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次産業革命とその影響、列強の帝国主義政策と国内問題、国際的社会主义運動の展開など、帝国主義時代の世界を理解している。 ・アフリカや太平洋地域の植民地化の状況と、植民 				1

<p>る。 ・アフリカや太平洋地域の植民地化の過程と、従属地域の列強への抵抗を理解する。 ・清朝の改革の失敗と中華民国の建国、インド、東南アジア、西アジアの民族運動の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第2次産業革命とその影響、列強各国の状況、国際的社会主义運動の展開を多面的・多角的に考察し、帝国主義時代の世界について理解し表現している。 ・アフリカや太平洋地域の植民地化とラテンアメリカ諸国の従属化、列強の対立状況を多面的・多角的に考察し、列強の世界再分割を理解し表現している。 ・列強の進出に抵抗するアジア諸国の民族運動、立憲運動の展開を多面的・多角的に考察し、アジア諸国の変革を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・欧米列強の帝国主義政策と、それに対するアジア諸地域の抵抗運動は、人々の生活にどのような影響をおよぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	<p>・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>地獲得を進める列強間の対立を理解している。 ・アジア諸地域で展開した列強の進出に抵抗する民族運動と、専制政治に反対する立憲運動の展開を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第2次産業革命が欧米社会におよぼした影響、列強の植民地獲得競争と国内の諸問題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・アフリカ、太平洋地域の植民地化、ラテンアメリカの従属化と帝国主義列強の二極分化について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア諸地域の民族運動と、列強への抵抗運動について、多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・欧米列強の帝国主義政策と、それに対するアジア諸地域の抵抗運動は、人々の生活にどのような影響をおよぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第一次世界大戦と世界の変容 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦と世界最初の社会主义主義国の成立について、その経緯とその後の世界におよぼした影響を理解する。 ・第一次世界大戦後につくられた新しい国際秩序と、大戦後の欧米諸国でおこった変化を理解する。 ・第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域で展開した民族運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦とロシア革命の展開を多面的・多角的に考察し、19世紀末から20世紀初めの国際関係と社会主义主義国の成立を理解し表現している。 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制が形成した国際秩序、ヨーロッパ各国、ソ連、アメリカ合衆国の動きを多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の欧米諸国を理解し表現している。 ・アジア・アフリカ諸地域の民族運動と列強の対立を多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の世界を理解し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主义主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	<p>・指導事項 ①西アジア地域の変容 ②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主义政権が成立した過程とその影響を理解している。 ・第一次世界大戦後の国際秩序の形成と、ヨーロッパ各国の置かれた状況と課題への取り組みを理解している。 ・植民地支配を維持しようとする列強の進出に抵抗する、第一次世界大戦後のアジア・アフリカ諸地域の民族運動を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀末から20世紀初めの国際関係と、それを背景としておこった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。 ・戦後の国際秩序の形成、西欧・東欧諸国、ソ連、アメリカが向かい合った課題について、多角的・多面的に考察し、表現している。 ・東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア、アフリカの民族運動と列強の統治と干渉を関連付け、第一次世界大戦後の民族運動を多角的・多面的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第一次世界大戦とロシア革命による世界最初の社会主义主義国の成立は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊を分析し、世界恐慌がヴェルサイユ体制の崩壊に与えた影響を考察し、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。</p>	<p>・指導事項 ①世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 ②第二次世界大戦 ③新しい国際秩序の形成</p>	<p>【知識及び技能】 ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊などをもとに、国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。 ・第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。</p>				

	<p>体制の崩壊をもたらした過程を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦がどのような対立構造を持ち、どのように展開していたのかを分析し、大戦がもたらした意義について理解する。 ・新しい国際秩序の形成について特色を分析し、戦後の国際秩序の意義を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊を多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し表現している。 ・第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し改めて第二次世界大戦を定義することで、第二次世界大戦の多様性を理解し表現している。 ・新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し改めて戦後の新しい国際秩序を定義することで、多様性を理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなど諸地域の変容を構造的に理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について多面的・多角的に考察し、国際関係の緊張と対立を構造的に理解し、改めて世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊について表現している。 ・第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、改めて第二次世界大戦を定義し表現している。 ・新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し、改めて新しい国際秩序の形成について定義し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 	○	○	○	7
3 学期	<p>冷戦と第三世界の台頭</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開について分析し、どのような影響を与えたかを理解する。 ・第三世界の特色を分析し、第三世界が台頭した意義について理解する。 ・冷戦体制の動揺について特色を分析し、冷戦体制が動揺した背景や意義について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開について多面的・多角的に考察し改めて冷戦について定義することで、冷戦の意義について理解し表現している。 ・第三世界の台頭について多面的・多角的に考察し改めて第三世界の台頭について定義することで、第三世界の多様性を理解し表現している。 ・冷戦体制の動揺について多角的・多面的に考察し改めて冷戦体制の動揺について定義することで、その後の社会体制の多様性を理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と第三世界の台頭が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ①冷戦の展開 ②第三世界の台頭とキューバ危機 ③冷戦体制の動揺 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開についての多様性について理解している。 ・第三世界の多様性について理解している。 ・冷戦体制の動揺について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開を多面的・多角的に考察し、改めて冷戦の展開を定義し表現している。 ・第三世界の台頭とキューバ危機を多面的・多角的に理解し、改めて第三世界の台頭とキューバ危機を定義し表現している。 ・冷戦体制の動揺について多面的・多角的に理解し、改めて冷戦体制の動揺について定義し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と第三世界の台頭が、現在の民主主義社会を作り上げるのにどのような影響を与えたのかを話し合い、現代の社会においてよりよい民主主義社会や経済のあり方を主体的に探究している。 	○	○	○	4
	<p>冷戦の終結と今日の世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年代の世界経済の転機が、どのようにして始まったかを理解する。 ・米ソ両国がどのように「新冷戦」を乗り越え、冷戦終結を実現したか、また冷戦終結後に世界がどのように変化したかを理解する。 ・冷戦終結後、世界の諸地域はどのように変容し、どのような課題を抱えているかを理解する。 ・現代社会において、変化を遂げてきた人々の世界観や生活のありようを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドルショックとオイルショックの影響、中東戦争とイラン=イスラム革命による中東の変容を多面的・多角的に考察し、1970年代の世界経済の変容を理解し表現している。 ・「新冷戦」、東欧社会主義国の改革と中国の民主化運動、冷戦終結後の世界を多面的・多角的に考察し、冷戦終結後も残る資本主義が生み出す未解決の問題を理解し表現している。 ・冷戦終結後の諸地域、各国が向き合う諸問題を多面的・多角的に考察し、グローバリゼーションが進む世界の課題への対応に国際的協力が必要であることを理解し表現している。 ・科学技術の発展や近代合理主義の考え方について多面的・多角的に考察し、私たちが継承していくべき文化について理解し表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ①産業構造の変容 ②冷戦の終結 ③今日の世界 ④現代文明の諸相 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドル=ショック、オイル=ショック、第3次中東戦争、第4次中東戦争、イラン=イスラム革命が、世界の経済や政治情勢に及ぼした影響を理解している。 ・「新冷戦」、東欧社会主義国の改革、冷戦終結宣言とソ連圏の崩壊、東アジアの民主化、南アフリカの人種差別撤廃など、1970～90年代の世界の動きを理解している。 ・世界各地の民族問題や政治・社会・経済問題、世界経済の多面的構造、同時多発テロ後の世界情勢など、冷戦終結後の世界が直面する問題を理解している。 ・現代社会における世界観や生活のありかたの変化と、私たちが継承していくべき理性や進歩、自由や人権の概念を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西側先進諸国の産業構造の転換と新自由主義的政策の推進、第3次・第4次中東戦争とイラン=イスラム革命が世界に及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、1970～80年代の世界経済の変化を表現している。 ・「新冷戦」、東欧社会主義国の改革、東アジアの民主化運動と南アの人種差別撤廃、冷戦終結が世界におよぼした影響を多角的・多面的に考察し、1970～90年代の世界について表現している。 ・世界各地の民族問題、地域紛争や経済問題などを多角的・多面的に考察し、今日の世界が直面する諸問題について表現している。 ・20世紀の科学技術の革新とその影響や、近代合理主義が今日の世界に及ぼす影響、わたしたちが受け継ぐべき概念を多角的・多面的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより良い社会を 	○	○	○	7

<p>・1970年代の世界経済の転換と、冷戦終結後の世界の変化は、人々の生活にどのような影響を及ぼしたのかを話し合い、これからの世界がより</p>		<p>形成するために何が必要であるかを主体的に追求しようとしている。</p>				
<p>地球世界の課題の探究 【知識及び技能】 ・グローバル化の進展、地域紛争やテロ、排外主義の横行、人権問題、自然環境問題、経済格差の拡大、科学技術など、地球世界の課題について、歴史的背景や事象相互の関連に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸資料を比較したり関連付けたりし、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球世界の課題について、持続可能な社会の実現を視野に入れて、主体的に探究しようとしている。</p>	<p>・指導事項 ①地球世界の課題の探究 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等</p>	<p>地球世界の課題の探究 【知識及び技能】 ・わたしたちの前にある、様々な地球世界の課題を適切に理解している。 ・課題の探究のために、効果的に資料を活用し、歴史的経緯を踏まえて、地球世界の課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な地球世界の課題の形成に関わる諸事情の歴史的背景や、事象相互の関連などに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球世界の課題について、持続可能な社会の実現を視野に入れて、主体的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	2
						合計
						105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数： 単位 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組～5組： 岡本 大輝 ）

使用教科書：（最新政治・経済 実教出版 ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代国家と民主政治 【知識及び技能】 ・近代民主政治の成立について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・基本的人権の保障はどのように拡大したのか表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで、権力分立と立憲主義の重要性を追求することができる。	・指導事項 ①民主政治と法 ②民主政治と基本原理 ③民主政治のしくみと課題 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・法の意義と役割のほか、法の分類についても理解している。 【思考・判断・表現】 ・多数決の長所と短所について、自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに、基本的人権や法の支配の重要性などについて主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	4
	B 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 ・日本国憲法の成立過程を踏まえて、明治憲法との違いについて基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法の基本原理を理解したうえで、憲法の改正手続きについて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・新しい人権について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	・指導事項 ①日本国憲法の成立 ②自由で生きる権利 ③新しい人権 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・日本国憲法の成立過程を理解している。 ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自由権、平等権、社会権について、各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・憲法の最高法規性や日本国憲法の原理、改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	C 日本の政治制度と政治参加 【知識及び技能】 ・国会の役割や権限について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・選挙制度について関心を深めており、デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。	・指導事項 ①政治機構と国会 ②内閣と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④選挙制度 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・国会の役割や権限、運営について理解している。 【思考・判断・表現】 ・より公正な選挙制度のあり方について、「多様な民意の反映」や「政治の安定」といった観点に立ちながら多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	D 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・3つの経済主体間の経済循環について適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・金融を通じた経済活動の活性化について意欲的に追求しようとしている。	・指導事項 ①経済活動の意義 ②経済主体と市場の働き ③金融の役割 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・資本主義経済の成立と展開、経済における政府の役割の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場経済における生産要素の効率的な配分や、政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・金融技術の革新について主体的に追究して、それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
E 現代の日本経済と福祉の向上 【知識及び技能】 ・高度経済成長期、安定成長期、現在の成長率について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・消費社会の拡大や過度な宣伝等について関心をもち、消費者の権利	・指導事項 ①日本の経済成長と課題 ②消費者問題 ③労働問題と労働者の権利 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・戦後復興、高度経済成長、バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。 【思考・判断・表現】 ・消費者の権利と責任について、自由と義務の観点から整理し、レポートにまとめるなど適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】					

2 学 期	ついで向いを見出し、消費者土権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 会社情報や労働条件に対する興味関心を高め、就業に際して自身が重視する観点を主体的に追究しようとしている。	Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の労働をめぐる現状と課題を理解したうえで、諸外国の労働環境やこれからの日本の労働環境について興味関心をもち、探究するための意欲を高めている。	○	○	○	8
	F 現代日本における諸課題の探求 【知識及び技能】 ・持続可能な地域社会のあり方について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歳入・歳出面での財政健全化などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会についての自分の考えを説明、論述している。	・指導事項 ①持続可能な地域社会のあり方を考える ②財政健全化を考える ③ワーク・ライフ・バランスの実現を考える ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・各課題に関連する知識を整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	G 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紛争をなくしていくためのルールや制度について協働的に考察し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマについて主体的に追求している。	・指導事項 ①国際社会と国際法 ②国際連合と国際協力 ③軍拡競争から軍縮へ ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・主権国家と国際社会の成り立ちについて理解している。 ・二度の世界大戦を契機として、国際法に大きな変化が生じたことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際連合が抱えている課題について、採決や財政の観点などから協働的に考察し、それらを適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、軍縮における合意形成の過程を参考にして、他者との意見調整などに生かそうとしている。	○	○	○	5
	H 国際経済理論 【知識及び技能】 ・自由貿易や保護貿易について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・円高と円安が日本経済に及ぼす影響について、具体的な貿易を想定し、それらを適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体的な事例を基にして為替相場の動向が経済に与える影響について主体的に追求している。	・指導事項 ①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解している。 【思考・判断・表現】 ・自由貿易が世界全体の発展に寄与するという仮説が適切かどうか、協働的に考察し、それを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自由貿易を推進するメリットと、近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し、望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	2
I 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 ・本文や図版資料を基に、歴史的な経過の基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて、自由と公正の観点から協働的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球温暖化問題をめぐる現状と課題について意欲的に追求している。	・指導事項 ①第二次世界大戦後の国際経済 ②発展途上国の課題と展望 ③地球環境問題、資源エネルギー問題 ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・モノカルチャー経済に依存する経済上の問題について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで、脱炭素社会の形成について興味関心をもち、「地球環境問題、資源エネルギー問題」を探究するための意欲を高めている。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
3 学 期	J 国際社会における諸課題の探求 【知識及び技能】 ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容について基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境と資源・エネルギー問題、イノベーションと成長市場などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会についての自分の考えを説明、論述している。	・指導事項 ①難民問題を考える ②自動運転技術を考える ③地球環境問題、資源エネルギー問題を考える ・教材 教科書 ワークシート Formsを活用した課題 1人1台端末を活用した課題 等	【知識・技能】 ・各課題に関連する知識を整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、各課題の解決策を多面的・多角的に考察、構想し、持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために、現代日本の諸課題を主体的に追究し、他者との協働もはかりながら、多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	16
						合計	70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科: 数学 科目: 数学Ⅲ 単位数: 3 単位
 対象学年組: 第 3 学年 4 組~ 5 組
 教科担当者: (4,5組: 反町)
 使用教科書: (数学C Standard)
 教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数を苦を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	・数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりすることができる。 ・いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 1節 関数 【知識・技能】 ・分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができる。 ・無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができる。 ・無理関数のグラフの特徴を理解し、無理関数のグラフを利用して、不等式を満たすxの値の範囲を求めることができる。 ・逆関数の意味を理解し、関数の逆関数を求めることや、関数のグラフから逆関数のグラフをかくことができる。 ・合成関数の意味を理解し、2つの関数の合成関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・具体的に分数関数のグラフをかき、その特徴を考察することができたか。 ・具体的に無理関数のグラフをかき、その特徴を考察することができたか。 ・関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき、位置関係を考察することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的に分数関数のグラフをかき、その特徴を考えようとしていたか。 ・具体的に無理関数のグラフをかき、その特徴を考えようとしていたか。 ・関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき、位置関係を考えようとしていたか。	・指導事項 ○分数関数とそのグラフ ○無理関数とそのグラフ ○逆関数と合成関数 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信	【知識・技能】 ・分数関数 $y=(ax+b)/(cx+d)$ のグラフをかくことができたか。 ・無理関数 $y=\sqrt{ax+b}$ のグラフをかくことができたか。 ・無理関数のグラフの特徴を理解し、無理関数のグラフを利用して、不等式を満たすxの値の範囲を求めることができたか。 ・逆関数の意味を理解し、関数の逆関数を求めることや、関数のグラフから逆関数のグラフをかくことができたか。 ・合成関数の意味を理解し、2つの関数の合成関数を求めることができたか。 【思考・判断・表現】 ・具体的に分数関数のグラフをかき、その特徴を考察することができたか。 ・具体的に無理関数のグラフをかき、その特徴を考察することができたか。 ・関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき、位置関係を考察することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的に分数関数のグラフをかき、その特徴を考えようとしていたか。 ・具体的に無理関数のグラフをかき、その特徴を考えようとしていたか。 ・関数のグラフとその関数の逆関数のグラフをかき、位置関係を考えようとしていたか。	○	○	○	7
第1章 2節 数列の極限 【知識及び技能】 ・数列の収束、発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができる。 ・はさみうちの原理を利用して、数列の極限を求めることができる。 ・無限等比数列 $\{r^n\}$ の収束する条件を活用して、与えられた数列の収束、発散や極限などを調べることができる。 ・無限級数について理解し、その収束、発散を調べたり、無限級数が収束するとき、その和を求めたりすることや、無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めたりすることができる。 ・図形への応用や循環小数の考察を通して、その理解を深めるとともに、問われたものを求めることが	・指導事項 ○数列の極限 ○無限等比数列 ○無限級数 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信	【知識及び技能】 ・数列の収束、発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができたか。 ・はさみうちの原理を利用して、数列の極限を求めることができたか。 ・無限等比数列 $\{r^n\}$ の収束する条件を活用して、与えられた数列の収束、発散や極限などを調べることができたか。 ・無限級数について理解し、その収束、発散を調べたり、無限級数が収束するとき、その和を求めたりすることや、無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めたりすることができたか。 ・図形への応用や循環小数の考察を通して、その理解を深めるとともに、問われたものを求めることが 【思考力、判断力、表現力等】 ・数列の第n項を変形して、その収束と極限について考	○	○	○	11

1 学期	<p>きる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列の第n項を変形して、その収束と極限值について考察することができる。 ・場合分けを用いて、数列の収束と極限について考察することができる。 ・場合分けを用いて、数列の収束と極限について考察することができる。 ・極限值と四則の性質を用いて、無限級数の和を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列の第n項を変形して、その収束と極限值について考えようとしている。 ・極限值と四則の性質を用いて、無限級数の和を考えようとしている。 		<p>察することができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場合分けを用いて、数列の収束と極限について考察することができたか。 ・極限值と四則の性質を用いて、無限級数の和を考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数列の第n項を変形して、その収束と極限值について考えようとしているか。 ・極限值と四則の性質を用いて、無限級数の和を考えようとしているか。 	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	<p>第1章 3節 関数の極限</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数、対数関数、三角関数などの極限を調べることができる。 ・関数の連続性について理解し、関数が連続である区間を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対値の付いた分数関数について、極限値の存在を判断することができる。 ・グラフを用いて、関数の極限を考察することができる。 ・図形を利用して、$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明することができる。 ・中間値の定理について理解し、ある区間における実数解の存在を証明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対値の付いた分数関数について、極限値の存在を判断しようとしている。 ・グラフを用いて、関数の極限を考えようとしている。 ・図形を利用して、$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明しようとしている。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな関数と極限 ○関数の連続性 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指数関数、対数関数、三角関数などの極限を調べることができたか。 ・関数の連続性について理解し、関数が連続である区間を求めることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対値の付いた分数関数について、極限値の存在を判断することができたか。 ・グラフを用いて、関数の極限を考察することができたか。 ・図形を利用して、$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明することができたか。 ・中間値の定理について理解し、ある区間における実数解の存在を証明することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対値の付いた分数関数について、極限値の存在を判断しようとしたか。 ・グラフを用いて、関数の極限を考えようとしたか。 ・図形を利用して、$\lim_{\theta \rightarrow 0} \frac{\sin \theta}{\theta} = 1$ を証明しようとしたか。 	○	○	○	10
	<p>第2章 1節 微分</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができる。 ・積・商の微分法を用いて、いろいろな関数の導関数を求めることができる。 ・合成関数の微分法及び逆関数の微分法を用いて、いろいろな関数の導関数を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数の微分可能性と連続性について考察することができる。 ・積の微分法を用いて、商の導関数について考察することができる。 ・nが整数のとき、$(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを考察することができる。 ・rが有理数のとき、$(x^r)' = rx^{r-1}$ が成り立つことを考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・nが整数のとき、$(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを考えようとしている。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導関数 ○積・商の微分法 ○合成関数の微分法 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができたか。 ・積・商の微分法を用いて、いろいろな関数の導関数を求めることができたか。 ・合成関数の微分法及び逆関数の微分法を用いて、いろいろな関数の導関数を求めることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関数の微分可能性と連続性について考察することができたか。 ・積の微分法を用いて、商の導関数について考察することができたか。 ・nが整数のとき、$(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを考察することができたか。 ・rが有理数のとき、$(x^r)' = rx^{r-1}$ が成り立つことを考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・nが整数のとき、$(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを考えようとしたか。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>第2章 2節 いろいろな関数の導関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成関数の微分法や積の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 ・対数関数の微分法を合成関数の微分法を用いて、対数関数の導関数を求めることができる。 ・高次導関数について理解し、第n次導関数を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導関数の定義を用いて、関数$\cos x$の導関数を考察することができる。 ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を求めることができる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三角関数の導関数 ○対数関数・指数関数の導関数 ○高次導関数 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成関数の微分法や積の微分法を用いて、三角関数を含む関数の導関数を求めることができたか。 ・対数関数の微分法を合成関数の微分法を用いて、対数関数の導関数を求めることができたか。 ・高次導関数について理解し、第n次導関数を求めることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導関数の定義を用いて、関数$\cos x$の導関数を考察することができたか。 ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考察することができたか。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	○	○	○	8

2 学 期	<p>導関数を考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考えようとしている。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考えようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・対数微分法を用いて、指数関数の導関数を考えようとしていたか。 ・いろいろな関数の第n次導関数を場合分けを用いて考えようとしたか。 				
	<p>第3章 1節 関数の増減</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。 ・媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めることができる。 ・関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができる。 ・これまで学習したことを総合していろいろな関数のグラフの概形をかくことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考察することができる。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考察することができる。 ・平均値の定理について考察したり、平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を証明したりすることができる。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考えようとしている。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考えようとしている。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明しようとしている。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○接線の方程式 ○関数の増減 ○第2次導関数とグラフ <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができたか。 ・媒介変数で表された曲線の接線の方程式を求めることができたか。 ・関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができたか。 ・これまで学習したことを総合していろいろな関数のグラフの概形をかくことができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考察することができたか。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考察することができたか。 ・平均値の定理について考察したり、平均値の定理に基づいて関数の増減に関する性質を証明したりすることができたか。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合成関数の微分法を用いて、円の接線の傾きを考えようとしたか。 ・円の媒介変数表示から導関数を求め、接線の傾きを考えようとしたか。 ・曲線の形を調べるために、第2次導関数が有用である理由を説明しようとしたか。 	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>第3章 2節 微分のいろいろな応用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・微分法を用いて、不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を調べたりすることができる。 ・運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解し、その速度・加速度を求めることができる。 ・1次近似式について理解し、関数の近似式を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章から立式し題意を満たすものを求めることにより、2変数の関係性を推測し、説明することができる。 ・平均値の定理を応用して、不等式を証明することができる。 ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明することができる。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明しようとしている。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考えようとしている。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○最大・最小 ○方程式・不等式への応用 ○速度・加速度 ○近似式 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができたか。 ・微分法を用いて、不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を調べたりすることができたか。 ・運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解し、その速度・加速度を求めることができたか。 ・1次近似式について理解し、関数の近似式を求めることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章から立式し題意を満たすものを求めることにより、2変数の関係性を推測し、説明することができたか。 ・平均値の定理を応用して、不等式を証明することができたか。 ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明することができたか。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度の変化を式で表すことにより、速度の変化の様子を説明しようとしたか。 ・関数のグラフの接線の傾きを利用して、数の近似値を考えようとしたか。 	○	○	○	11
	<p>第4章 1節 不定積分</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。 ・置換積分法を利用し、不定積分を求めることができる。 ・部分積分法を利用し、不定積分を求めることができる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不定積分 ○置換積分法 ○部分積分法 ○いろいろな関数の不定積分 <p>・教材</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができたか。 ・置換積分法を利用し、不定積分を求めることができたか。 ・部分積分法を利用し、不定積分を求めることができたか。 ・三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に直す公式を用いて、三角関数の不定積分を求めること 				

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

数学

科目 数学C

教科: 数学

科目: 数学C

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 4 組~ 5 組

教科担当者: (4,5組:反町)

使用教科書: (数学C Standard

)

教科 数学

の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数を苦を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 1節 平面上のベクトル</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有向線分や平面上のベクトルの意味、相等、逆ベクトル、和、差、実数倍、平行について理解している。 ・ベクトルの成分表示について理解し、それを用いてベクトルの大きさを求めたり、ベクトルの演算を行ったりすることができる。 ・始点と終点の座標からベクトルの成分や大きさを求めることができる。 ・ベクトルの内積の定義について理解し、図形と関連付けたり成分を用いたりして内積の値を求めることができる。 ・ベクトルの内積の性質について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの演算について、実数の演算法則と関連付けてその類似性について考察したり、ベクトルの演算法則が成り立つことを表現したりすることができる。 ・正六角形の対角線のベクトルを2つのベクトルに分解する方法とその結果について考察することができる。 ・平面上のベクトルの基本ベクトル表示と関連付けて、成分表示されたベクトルの演算とその法則について考察することができる。 ・平面上のベクトルの平行や分解について、成分表示を利用して考察したり、その過程を表現したりすることができる。 ・ベクトルの成分と平行四辺形の性質を関連付けて考察することができる。 ・ベクトルの内積を余弦定理と関連付けて考察し、成分を用いて内積の値を表現することができる。 ・ベクトルの内積と成分表示を関連付けて考察し、成分表示されたベクトルのなす角について考察することができる。 ・ベクトルの内積の性質を、ベクトルの大きさと関連付けて考察し、具体的なベクトルの大きさを求めることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの演算について、実数の演算法則と関連付けてその類似性について考察しようとしたり、ベクトルの演算法則が成り立つことを表現しようとしたりしている。 ・正六角形の対角線のベクトルを2つのベクトルに分解する方法とその 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ○平面上のベクトル ○ベクトルの分解 ○ベクトルの成分 ○ベクトルの内積 ・教材 ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有向線分や平面上のベクトルの意味、相等、逆ベクトル、和、差、実数倍、平行について理解している。 ・ベクトルの成分表示について理解し、それを用いてベクトルの大きさを求めたり、ベクトルの演算を行ったりすることができる。 ・始点と終点の座標からベクトルの成分や大きさを求めることができる。 ・ベクトルの内積の定義について理解し、図形と関連付けたり成分を用いたりして内積の値を求めることができる。 ・ベクトルの内積の性質について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの演算について、実数の演算法則と関連付けてその類似性について考察したり、ベクトルの演算法則が成り立つことを表現したりしてきたか。 ・正六角形の対角線のベクトルを2つのベクトルに分解する方法とその結果について考察してきたか。 ・平面上のベクトルの基本ベクトル表示と関連付けて、成分表示されたベクトルの演算とその法則について考察してきたか。 ・平面上のベクトルの平行や分解について、成分表示を利用して考察したり、その過程を表現したりしてきたか。 ・ベクトルの成分と平行四辺形の性質を関連付けて考察してきたか。 ・ベクトルの内積を余弦定理と関連付けて考察し、成分を用いて内積の値を表現してきたか。 ・ベクトルの内積と成分表示を関連付けて考察し、成分表示されたベクトルのなす角について考察してきたか。 ・ベクトルの内積の性質を、ベクトルの大きさと関連付けて考察し、具体的なベクトルの大きさを求めるってきたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの演算について、実数の演算法則と関連付けてその類似性について考察しようとしたり、ベクトルの演算法則が成り立つことを表現しようとしたりしていたか。 ・正六角形の対角線のベクトルを2つのベクトルに分解する方法とその結果について考察しようとしたか。 ・平面上のベクトルの基本ベクトル表示と関連付けて、成分表示されたベクトルの演算とその法則について考察しようとしたか。 ・ベクトルの内積を余弦定理と関連付けて考察しようとしたり、成分を用いて内積の値を表現しようとしたか。 	○	○	○	13

	結果について考察しようとしている。 ・平面上のベクトルの基本ベクトル表示と関連付けて、成分表示されたベクトルの演算とその法則について考察しようとしている。 ・ベクトルの内積を余弦定理と関連付けて考察しようとしたり、成分を								
	定期考査					○	○		1
1学期	第1章 2節 ベクトルの応用 【知識及び技能】 ・線分の内分点、外分点や三角形の重心、線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。 ・ベクトル方程式の概念について理解し、直線のベクトル方程式を求めることができる。 ・与えられたベクトル方程式が表す円の中心と半径を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・線分の内分点や外分点の位置ベクトルについて、ベクトルの基本的な性質を利用して考察することができる。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察してその結果を表現したりすることができる。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、異なる2点を通る直線のベクトル方程式について考察することができる。 ・ベクトル方程式の考え方を利用して、平面上の点の位置や存在範囲について考察し、その結果を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・線分の内分点の位置ベクトルについて、ベクトルの基本的な性質を利用して考察しようとしている。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、異なる2点を通る直線のベクトル方程式について考察しようとしている。	・指導事項 ○位置ベクトル ○ベクトル方程式 ・教材 ○教科書 ○教科書傍要問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信	【知識及び技能】 ・線分の内分点、外分点や三角形の重心、線分の交点の位置ベクトルを求めることができたか。 ・ベクトル方程式の概念について理解し、直線のベクトル方程式を求めることができたか。 ・与えられたベクトル方程式が表す円の中心と半径を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・線分の内分点や外分点の位置ベクトルについて、ベクトルの基本的な性質を利用して考察することができたか。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察してその結果を表現したりすることができたか。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、異なる2点を通る直線のベクトル方程式について考察することができたか。 ・ベクトル方程式の考え方を利用して、平面上の点の位置や存在範囲について考察し、その結果を表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・線分の内分点の位置ベクトルについて、ベクトルの基本的な性質を利用して考察しようとしたか。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、異なる2点を通る直線のベクトル方程式について考察しようとしたか。						
	定期考査					○	○		1
	第1章 3節 空間におけるベクトル 【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの考えを空間に拡張して、空間ベクトルの概念やその基本的な演算法則について理解している。 ・空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、空間ベクトルを成分表示で表したり、それを用いて基本的なベクトルの演算を行ったりすることができる。 ・始点と終点の座標からベクトルの成分や大きさを求めることができる。 ・空間のベクトルの内積について理解し、それを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができる。 ・空間における線分の内分点及び外分点の位置ベクトルを求めることができる。 ・座標空間における平面や球面の方程式を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面ベクトルの分解の考え方を活用して、平行六面体の対角線のベクトルを3つのベクトルに分解する方法とその結果について考察することができる。 ・平面ベクトルの演算法則と対比して、成分表示された空間ベクトルの演算について考察することができる。 ・空間ベクトルの分解について、成分表示を利用して考察したり、その過程を表現したりすることができる。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察してその結果を表現したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平面ベクトルの分解の考え方を活用して、平行六面体の対角線のベクトルを3つのベクトルに分解する方	・指導事項 ○空間のベクトル ○空間座標と空間のベクトル ○空間のベクトルの内積 ○位置ベクトルと空間の図形 ・教材 ○教科書 ○教科書傍要問題集「WIDE」 ・一人1台端末の活用 等 応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信	【知識及び技能】 ・平面上のベクトルの考えを空間に拡張して、空間ベクトルの概念やその基本的な演算法則について理解したか。 ・空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し、空間ベクトルを成分表示で表したり、それを用いて基本的なベクトルの演算を行ったりすることができたか。 ・始点と終点の座標からベクトルの成分や大きさを求めることができたか。 ・空間のベクトルの内積について理解し、それを利用して空間のベクトルのなす角や大きさを求めることができたか。 ・空間における線分の内分点及び外分点の位置ベクトルを求めることができたか。 ・座標空間における平面や球面の方程式を求めることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・平面ベクトルの分解の考え方を活用して、平行六面体の対角線のベクトルを3つのベクトルに分解する方法とその結果について考察することができたか。 ・平面ベクトルの演算法則と対比して、成分表示された空間ベクトルの演算について考察することができたか。 ・空間ベクトルの分解について、成分表示を利用して考察したり、その過程を表現したりすることができたか。 ・ベクトルの基本的な性質を用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察してその結果を表現したりすることができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平面ベクトルの分解の考え方を活用して、平行六面体の対角線のベクトルを3つのベクトルに分解する方						
						○	○	○	11

<p>法とその結果について考察しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平面ベクトルの演算法則と対比して、成分表示された空間ベクトルの演算について考察しようとしている。 						
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2章 1節 2次曲線</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放物線、楕円、双曲線について、それらの方程式を定義に基づいて軌跡の焦点や頂点、準線、漸近線といったそれらの図形的な特徴と、それらの方程式の関係について理解している。また、これらの曲線がいずれも x と y の2次方程式で表されることを理解している。 ・任意の2次曲線を平行移動して得られる2次曲線の方程式を求めることができる。 ・与えられた方程式が表す2次曲線の種類を判別したり、その概形を正しくとらえたりすることができる。 ・2次曲線と直線が接する条件や接線の方程式を、2次方程式の判別式を利用して求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡が放物線、楕円、双曲線となる点Pについて、点Pが満たす条件をもとにその軌跡の方程式について考察したり、その過程を表現したりすることができる。 ・円と楕円の関係について、軌跡の考えを利用して考察することができる。 ・原点から遠ざかっていくときの双曲線の様子について考察したり、極限値の考えを利用して双曲線が漸近線をもつことを説明したりすることができる。 ・楕円の平行移動をもとに、一般の曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について考察している。 ・2次曲線と直線の共有点の個数や接線について、2次方程式の判別式を利用して考察することができる。 ・離心率が具体的な数値で与えられた曲線の方程式についての考察を通して、放物線、楕円、双曲線を離心率の考え方をを用いることで相互に関連付けて考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡が放物線、楕円、双曲線となる点Pについて、点Pが満たす条件をもとにその軌跡の方程式について考察したり、その過程を表現したりしようとしている。 ・原点から遠ざかっていくときの双曲線の様子について考察したり、極限値の考えを利用して双曲線が漸近線をもつことを説明したりしようとしている。 ・楕円の平行移動をもとに、一般の曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について考察しようとしている。 ・2次曲線と直線の共有点の個数や接線について、2次方程式の判別式を利用して考察しようとしている。 ・離心率が具体的な数値で与えられた曲線の方程式についての考察を通して、放物線、楕円、双曲線を離心率の考え方をを用いることで相互に関連付けて考察しようとしている。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放物線、楕円、双曲線 ○2次曲線と平行移動 ○2次曲線と直線 ○2次曲線と離心率 ・教材 <p>○教科書</p> <p>○教科書傍用問題集「WIDE」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放物線、楕円、双曲線について、それらの方程式を定義に基づいて軌跡の焦点や頂点、準線、漸近線といったそれらの図形的な特徴と、それらの方程式の関係について理解している。また、これらの曲線がいずれも x と y の2次方程式で表されることを理解したか。 ・任意の2次曲線を平行移動して得られる2次曲線の方程式を求めることができたか。 ・与えられた方程式が表す2次曲線の種類を判別したり、その概形を正しくとらえたりすることができたか。 ・2次曲線と直線が接する条件や接線の方程式を、2次方程式の判別式を利用して求めることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡が放物線、楕円、双曲線となる点Pについて、点Pが満たす条件をもとにその軌跡の方程式について考察したり、その過程を表現したりすることができたか。 ・円と楕円の関係について、軌跡の考えを利用して考察することができたか。 ・原点から遠ざかっていくときの双曲線の様子について考察したり、極限値の考えを利用して双曲線が漸近線をもつことを説明したりすることができたか。 ・楕円の平行移動をもとに、一般の曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について考察したか。 ・2次曲線と直線の共有点の個数や接線について、2次方程式の判別式を利用して考察することができたか。 ・離心率が具体的な数値で与えられた曲線の方程式についての考察を通して、放物線、楕円、双曲線を離心率の考え方をを用いることで相互に関連付けて考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡が放物線、楕円、双曲線となる点Pについて、点Pが満たす条件をもとにその軌跡の方程式について考察したり、その過程を表現したりしようとしたか。 ・原点から遠ざかっていくときの双曲線の様子について考察したり、極限値の考えを利用して双曲線が漸近線をもつことを説明したりしようとしたか。 ・楕円の平行移動をもとに、一般の曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について考察しようとしたか。 ・2次曲線と直線の共有点の個数や接線について、2次方程式の判別式を利用して考察しようとしたか。 ・離心率が具体的な数値で与えられた曲線の方程式についての考察を通して、放物線、楕円、双曲線を離心率の考え方をを用いることで相互に関連付けて考察しようとしたか。 		○ ○ ○		10
<p>第2章 2節 媒介変数表示と極座標</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線の媒介変数表示について理解している。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、2次曲線を媒介変数表示したりすることができる。 ・サイクロイドやアステロイドなどの曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標について理解し、極座標が与えられた点の位置を把握することができる。 ・平面上の円や直線について、それらの極方程式を求めることができる。また、極方程式の意味や曲線を 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○曲線の媒介変数表示 ○極座標と極方程式 ・教材 <p>○教科書</p> <p>○教科書傍用問題集「WIDE」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人1台端末の活用 等 <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線の媒介変数表示について理解している。また、媒介変数表示された曲線の方程式を求めたり、2次曲線を媒介変数表示したりすることができたか。 ・サイクロイドやアステロイドなどの曲線の媒介変数表示について理解したか。 ・極座標について理解し、極座標が与えられた点の位置を把握することができたか。 ・平面上の円や直線について、それらの極方程式を求めることができる。また、極方程式の意味や曲線を極方程式で表すことのよさについて理解を深めたか。 ・直交座標と極座標の関係について理解している。また、平面上の曲線の極方程式と直交座標の方程式を相互に変換することができたか。 				

2 学 期	<p>極方程式で表すことのおよびについて理解を深めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直交座標と極座標の関係について理解している。また、平面上の曲線の極方程式と直交座標の方程式を相互に変換することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応表に従って点をプロットしたり、式変形によって媒介変数を消去したりすることで、媒介変数表示された曲線の様子について考察することができる。 ・対応表に従って点をプロットしたり、平面上の曲線とその極方程式を関連付けて考察したりすることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応表に従って点をプロットしたり、式変形によって媒介変数を消去したりすることで、媒介変数表示された曲線の様子について考察しようとしている。 ・対応表に従って点をプロットしたり、平面上の曲線とその極方程式を関連付けて考察したりしようとしている。 		<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応表に従って点をプロットしたり、式変形によって媒介変数を消去したりすることで、媒介変数表示された曲線の様子について考察することができたか。 ・対応表に従って点をプロットしたり、平面上の曲線とその極方程式を関連付けて考察したりすることができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応表に従って点をプロットしたり、式変形によって媒介変数を消去したりすることで、媒介変数表示された曲線の様子について考察しようとしたか。 ・対応表に従って点をプロットしたり、平面上の曲線とその極方程式を関連付けて考察したりしようとしたか。 	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	<p>第3章 1節 複素数平面</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の各点が複素数を表していることを理解している。 ・複素数の実数倍や、和や差の図形的な意味を理解している。 ・複素数の絶対値や複素数平面上の2点間の距離を求めることができる。 ・複素数の極形式を理解し、極形式と $a+bi$ の形を相互に変形することができる。 ・複素数の積と商の性質を利用して、極形式で与えられた複素数の積や商を求めることができる。 ・複素数の積と回転の性質について理解し、それを利用して複素数平面上の点と点の位置関係を調べたり、原点を中心として回転移動させた点を表す複素数を求めたりすることができる。 ・ド・モアブルの定理を利用して任意の複素数の累乗を計算したり、方程式 $z^n = \alpha$ の解を求めたりすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和や差を、平面上の点の平行移動と関連付けて考察し、それらの演算の意味を考察することができる。 ・複素数の積や商の図形的な意味について、$z=1+i$ の累乗の複素数平面上での位置を通して考察することができる。 ・複素数の積や商を極形式で表したときに成り立つ性質の成り立ちを説明することができる。 ・ある複素数に i を4回掛けるともとの複素数が得られる理由を、複素数の積の図形的な意味を利用して説明することができる。 ・複素数の積の性質を一般化し、絶対値が1である複素数の累乗について考察することができる。 ・1の原始3乗根の累乗を複素数平面上に図示する活動を通して、複素数 α の n 乗根の図形的意味について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和や差を、平面上の点の平行移動と関連付けて考察したり、それらの演算の意味を考察したりしようとしている。 ・複素数の積や商の図形的な意味について、$z=1+i$ の累乗の複素数平面上での位置を通して考察しようとしている。 ・複素数の積の性質を一般化し、絶対値が1である複素数の累乗について考察しようとしている。 ・1の原始3乗根の累乗を複素数平面上に図示する活動を通して、複素数 α の n 乗根の図形的意味について 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○複素数平面 ○複素数の極形式 ○ド・モアブルの定理 <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 ○教科書傍用問題集「WIDE」 <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>応用問題・発展問題による演習プリントにおいて、プリント+PDFにて配信</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の各点が複素数を表していることを理解していたか。 ・複素数の実数倍や、和や差の図形的な意味を理解したか。 ・複素数の絶対値や複素数平面上の2点間の距離を求めることができたか。 ・複素数の極形式を理解し、極形式と $a+bi$ の形を相互に変形することができたか。 ・複素数の積と商の性質を利用して、極形式で与えられた複素数の積や商を求めることができたか。 ・複素数の積と回転の性質について理解し、それを利用して複素数平面上の点と点の位置関係を調べたり、原点を中心として回転移動させた点を表す複素数を求めたりすることができたか。 ・ド・モアブルの定理を利用して任意の複素数の累乗を計算したり、方程式 $z^n = \alpha$ の解を求めたりすることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和や差を、平面上の点の平行移動と関連付けて考察し、それらの演算の意味を考察することができたか。 ・複素数の積や商の図形的な意味について、$z=1+i$ の累乗の複素数平面上での位置を通して考察することができたか。 ・複素数の積や商を極形式で表したときに成り立つ性質の成り立ちを説明することができたか。 ・ある複素数に i を4回掛けるともとの複素数が得られる理由を、複素数の積の図形的な意味を利用して説明することができたか。 ・複素数の積の性質を一般化し、絶対値が1である複素数の累乗について考察することができたか。 ・1の原始3乗根の累乗を複素数平面上に図示する活動を通して、複素数 α の n 乗根の図形的意味について考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和や差を、平面上の点の平行移動と関連付けて考察したり、それらの演算の意味を考察したりしようとしたか。 ・複素数の積や商の図形的な意味について、$z=1+i$ の累乗の複素数平面上での位置を通して考察しようとしたか。 ・複素数の積の性質を一般化し、絶対値が1である複素数の累乗について考察しようとしたか。 ・1の原始3乗根の累乗を複素数平面上に図示する活動を通して、複素数 α の n 乗根の図形的意味について考察しようとしたか。 				10
	<p>第3章 2節 図形への応用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の異なる3点がつくる角の大きさを求めることができる。 	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2直線のなす角 ○複素数平面上の図形 	<p>第3章 2節 図形への応用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の異なる3点がつくる角の大きさを求めることができたか。 ・複素数平面上の異なる3点が一直線上にある条件 				

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の異なる3点が一直線上にある条件や、2直線が直交する条件について理解している。 ・複素数平面上の2点を結ぶ線分の内分点や外分点を表す複素数を求めることができる。 ・複素数の絶対値と複素数平面上の2点間の距離の関係を利用して、与えられた等式を満たす複素数全体が描く図形を求めることができる。 ・共役な複素数の性質を利用して、複素数平面上の2定点からの距離の比が一定である点の軌跡を求めることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の原点を含む異なる3点がつくる角の大きさについて、複素数の積の図形的な意味を利用して考察することができる。 ・複素数平面上の異なる3点がつくる角の大きさに着目して、それら3点がつくる三角形の形状について考察することができる。 ・複素数の和や積、実数倍の図形的な意味を利用して、複素数平面上の図形の平行移動や回転移動、拡大縮小について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の原点を含む異なる3点がつくる角の大きさについて、複素数の積の図形的な意味を利用して考察しようとしている。 ・複素数の和や積の図形的な意味を利用して、複素数平面上の図形の平行移動や回転移動について考察しようとしている。 	<p>や、2直線が直交する条件について理解したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の2点を結ぶ線分の内分点や外分点を表す複素数を求めることができたか。 ・複素数の絶対値と複素数平面上の2点間の距離の関係を利用して、与えられた等式を満たす複素数全体が描く図形を求めることができたか。 ・共役な複素数の性質を利用して、複素数平面上の2定点からの距離の比が一定である点の軌跡を求めることができたか。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の原点を含む異なる3点がつくる角の大きさについて、複素数の積の図形的な意味を利用して考察することができたか。 ・複素数平面上の異なる3点がつくる角の大きさに着目して、それら3点がつくる三角形の形状について考察することができたか。 ・複素数の和や積、実数倍の図形的な意味を利用して、複素数平面上の図形の平行移動や回転移動、拡大縮小について考察することができたか。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面上の原点を含む異なる3点がつくる角の大きさについて、複素数の積の図形的な意味を利用して考察しようとしたか。 ・複素数の和や積の図形的な意味を利用して、複素数平面上の図形の平行移動や回転移動について考察しようとしたか。 				5
	定期考査					1
						合計

足立西 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 4 組～ 5 組

教科担当者： (嶋本) (水谷)

使用教科書： リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C a+b (数研出版)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して考察を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 数学Ⅰ・A (approach) 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項 数学Ⅰ・A (approach) ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C a+b (数研出版) ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信	【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めている。	○	○	○	17
1 学期 定期考査			○	○		1

<p>カ</p>	<p>B 数学Ⅱ・B (approach) 【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 数学Ⅱ・B (approach) ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C a+b (数研出版) ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○確認テスト、課題配信</p>	<p>【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めている。</p>	○	○	○	20
	<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2 学 期</p>	<p>C 数学Ⅰ・A (basic) 【知識及び技能】 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 数学Ⅰ・A (approach) ・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C a+b (数研出版) ○一人1台端末 ・一人1台端末の活用 ○確認テスト、課題配信</p>	<p>【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めている。</p>	○	○	○	20
	<p>定期考査</p>			○	○		1

<p>B 数学Ⅱ・B (basic)</p> <p>【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 数学Ⅱ・B (approach)</p> <p>・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C a+b (数研出版) ○一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信</p>	<p>【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察しできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めている。</p>	○	○	○	20
			○	○		1
<p>3 学 期</p> <p>A 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B (補充問題)</p> <p>【知識及び技能】 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B (補充問題)</p> <p>・教材 ○リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C a+b (数研出版) ○一人1台端末</p> <p>・一人1台端末の活用 ○ 確認テスト、課題配信</p>	<p>【知識・技能】 各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 各単元において数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、論理的に考察しできる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めている。</p>	○	○	○	24
						合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科：理科 科目：物理

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1～5組：鈴木 彰浩）

使用教科書：（「高等学校 物理」（啓林館））

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 基礎的な原理・法則を理解し、観察・実験を通して理科的な探究技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 自然界の事物・現象について科学的に考察し、自らの考えを的確に表現することができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象について科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	・物体の運動 【知識及び技能】 物体の運動の表し方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の運動を公式等で定量的に扱えるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に物体の運動を理解しようとする姿勢を育む。	・第1部 第1章「物体の運動」	【知識・技能】 物体の基本的な運動がわかる。 【思考・判断・表現】 物体の基本的な運動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味をもち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	6
	剛体のつり合い 【知識及び技能】 剛体のつり合いを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 力のモーメントや重心について説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に剛体のつり合いを理解しようとする姿勢を育む。	・第1部 第2章「剛体のつり合い」	【知識・技能】 剛体にはたらく力のつり合いや重心について計算できる。 【思考・判断・表現】 力のモーメントのつり合いや物体の重心について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大きさのある剛体の重心やつり合いの関係について積極的に調べようとしている。	○	○	○	6
	運動量と力積 【知識及び技能】 物体がもつ運動量と力積について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の衝突・分裂や跳ね返りについて説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に運動量や力積について理解しようとする姿勢を育む。	・第1部 第3章「運動量と力積」	【知識・技能】 物体がもつ運動量と力積について基本的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 運動量と力積のベクトル表記、衝突による力学的エネルギーの変化について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動の法則に基づき、物体の衝突・分裂について調べようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	円運動と単振動 【知識及び技能】 物体の円運動、慣性力、単振動について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 物体の円運動の様子を説明できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に物体の円運動について考えようとする姿勢を育む。	・第1部 第4章「円運動と単振動」	【知識・技能】 円運動、単振動の性質について正しく理解している。 【思考・判断・表現】 円運動、単振動や見かけの力について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 円運動、単振動の性質を理解し、積極的に調べようとしている。	○	○	○	9
	万有引力 【知識及び技能】 万有引力の法則について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 万有引力の法則について理解し、惑星の重力と関連付けて考えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に万有引力の法則について理解しようとする姿勢を育む。	・第1部 第5章「万有引力」	【知識・技能】 惑星や人工衛星の運動を運動の法則、万有引力の法則と紐づけて理解できる。 【思考・判断・表現】 惑星や人工衛星の運動について、ケプラーの法則と関連付けて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ニュートンが発見した万有引力の法則に興味をもち、天体や人工衛星の運動について調べようとしている。	○	○	○	5

<p>気体分子の運動</p> <p>【知識及び技能】 気体の状態方程式や熱力学の第1法則を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 気体の圧力を分子運動や熱力学の第1法則と関連付けて考えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に気体の分子運動について調べようとする姿勢を育む。</p>	<p>・第2部 第1章「気体分子の運動」</p>	<p>【知識・技能】 ボイル・シャルルの法則を用いて、気体の状態を計算することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 気体の状態を、分子運動の観点から考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 気体のマクロな量と、ミクロな量の関係について積極的に調べ、考えようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>波の性質</p> <p>【知識及び技能】 波を表す物理量や波の伝わり方について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 正弦波の性質や波の独立性について説明することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 空間中を伝わる波の性質について積極的に知ろうとする姿勢を育む。</p>	<p>・第3部 第1章「波の性質」</p>	<p>【知識・技能】 進行波の式の導出を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 波の独立性や干渉、反射、屈折、回折などの性質と関連付けながら、波の伝わり方考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 波の伝わり方に興味をもち、実際の波形について調べようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>音</p> <p>【知識及び技能】 波の1つである音の性質を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 空間中を伝わる音波やドップラー効果について理解できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの音波について考えようとする姿勢を育む。</p>	<p>・第3部 第2章「音」</p>	<p>【知識・技能】 音波の基本的な性質を併せて、ドップラー効果について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 音波の伝わり方や、音源や観測者が同一直線状を移動する際のドップラー効果について説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りに存在する音や実際に確認できるドップラー効果について積極的に調べ、考えようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>光</p> <p>【知識及び技能】 光の波動性を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 レンズや鏡によって屈折、反射する光の性質について考えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 光の伝わり方について積極的に知ろうとする姿勢を養う。</p>	<p>・第3部 第3章「光」</p>	<p>【知識・技能】 光の波動性である反射や屈折、回折について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 光の性質について、具体的な物理量である波長や振動数、速さと関連付けながら考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 光の波としての性質や光の伝わり方について興味をもち、調べようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>電界と電位</p> <p>【知識及び技能】 電荷によって生じる電界や電位、力について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 電界と電位の関係を考えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 静電気のはたらきや電界と磁界の類似性について積極的に知ろうとする姿勢を養う。</p>	<p>・第4部 第1章「電界と電位」</p>	<p>【知識・技能】 電界の定義やクーロンの法則について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 電荷が生じさせる電界と電位の関係と導体について考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 静電気のはたらきについて定性的、定量的に検討し、積極的に調べようとしている。また、電界や電気力線について、磁界や磁力線と関連付けて調べようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>2学期</p> <p>電流</p> <p>【知識及び技能】 オームの法則やキルヒホッフの法則を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 電力と熱の関係を電流の性質と関連付けて考えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの配線や半導体について積極的に知ろうとする姿勢を養う。</p>	<p>・第4部 第2章「電流」</p>	<p>【知識・技能】 電気抵抗の定義を理解し、キルヒホッフの法則を用いて回路に流れる電流や回路にかかる電圧について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自由電子の動きと発生する熱を関連付けてオームの法則を説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 電気に関わる法則に興味をもち、回路の性質や半導体について調べようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>電流と磁界</p> <p>【知識及び技能】 電流と磁界の関係について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ローレンツ力や磁界中荷電粒子の運動について考えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの磁界の利用例について考えようとする姿勢を養う。</p>	<p>・第4部 第3章「電流と磁界」</p>	<p>【知識・技能】 磁界の定義や電流が磁界から受ける力について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 磁気力と磁界の関係やフレミングの左手の法則について説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りのもので、電流が磁界から受ける力を利用したものについて興味を持ち、積極的に調べようとしている。</p>	○	○	○	9

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 単位
 対象学年組: 第 3 学年 4 組 ~ 5 組
 教科担当者: (4 組: 西村幸也) (5 組: 西村幸也) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (実教出版 化学)

- 教科 理科 の目標:
- 【知識及び技能】 化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1. 物質の状態と平衡 【知識及び技能】 物質の譲渡愛と平衡についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 物質の状態と平衡についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。	・指導事項 1章 物質の状態と平衡 1節 状態変化 2節 固体の構造 3節 気体の性質 4節 溶液 ・教材 教科書 アクセスノート(副教材) 自作プリント ・一人1台端末の活用 課題の配布と回収	・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的な概念や知識を身に付けている。 ・状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・結晶構造について、基本的な知識を身に付けており、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身に付けている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・溶解のしくみについて、基本的な原理と知識を身に付けている。 ・溶解度の定義や法則を理解している。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身に付けている。 ・コロイド溶液について、その基本概念と性質を実験を通して理解し、知識として身に付けている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 ・平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができる。モデルで表現することができる。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 ・結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。 ・溶解度について理解し、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 ・物質の構造と沸点・融点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ・物質の平衡と粒子の熱運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 ・気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。 ・溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	25
定期考査			○	○		1

1 学期

<p>2. 物質の変化と平衡</p> <p>【知識及び技能】 物質の変化と平衡についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物質の変化と平衡についての事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>・指導事項 2章 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー 2節 電池と電気分解 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡</p> <p>・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント 一人1台端末の活用 課題の配布と回収</p>	<p>・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的な概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。</p> <p>・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。</p> <p>・電池と電気分解のしくみについて理解し、電流量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。</p> <p>・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。</p> <p>・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。</p> <p>・化学平衡の移動の原理を理解している。</p> <p>・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。</p> <p>・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。</p> <p>・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。</p> <p>・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。</p> <p>・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。</p> <p>・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。</p> <p>・平衡の移動について論理的に説明することができる。</p> <p>・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。</p> <p>・それぞれの実験を探究的にを行い、考察することができる。</p> <p>・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。</p> <p>・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。</p> <p>・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。</p> <p>・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。</p> <p>・化学平衡における移動、利用について探究しようとする。</p>	○	○	○	25
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>3. 無機物質</p> <p>【知識及び技能】 無機物質についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 無機物質についての事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>・指導事項 第3章 無機物質 1節 周期表 2節 非金属元素 3節 金属元素</p> <p>・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント 一人1台端末の活用 課題の配布と回収</p>	<p>・周期表における各元素の配置、性質を理解している。</p> <p>・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身に付けている。</p> <p>・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身に付けている。</p> <p>・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身に付けている。</p> <p>・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。</p> <p>・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。</p> <p>・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。</p> <p>・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。</p> <p>・それぞれの実験を探究的にを行い、考察することができる。</p> <p>・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。</p> <p>・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。</p> <p>・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。</p> <p>・人間生活で利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	○	○	○	27
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学期	<p>4. 有機化合物 【知識及び技能】 有機物質についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化合物についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>・指導事項 第4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 2節 脂肪族炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族化合物 4節 芳香族化合物 ・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント 一人1台端末の活用 課題の配布と回収</p>	<p>・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	○	○	○	27
定期 考査				○	○		1
3 学期	<p>4. 高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物についての基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 高分子化合物についての事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	<p>・指導事項 第5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 ・教材 教科書 アクセスノート（副教材） 自作プリント 一人1台端末の活用 課題の配布と回収</p>	<p>・高分子化合物の分類と特徴について理解している。 ・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物について、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。 ・天然高分子化合物について、その構造や性質、存在例を意欲的に探究しようとする。 ・合成高分子化合物について、その構造や性質、利用のされ方を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。</p>	○	○	○	32
							合計 140

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 生物

教科: 理科 科目: 生物 単位数: 4

対象学年組: 第 3 学年 4 組 ~ 5 組

教科担当者: (4組: 柏倉) (5組: 柏倉) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (高等学校 生物 (第一学習社))

教科 生物 の目標:

【知識及び技能】・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

科目 生物 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1. 生命の起源と細胞の進化 ①生命の誕生 ②細胞の進化 資料1 生物の進化と地球の大気組成の変化との関係を考えよう	・原始地球とその環境、化学進化 ・原核細胞と真核細胞の誕生 ・生物の進化と地球環境の変化との関係を見いだす(資料1)	・原始地球の環境における有機物の生成に関する実験にもとづいて、生命の起源に関する考えを理解する。 ・生命が誕生したと考えられる場所について理解する。 ・光合成生物の出現が地球環境に与えた影響について科学的に理解する。 ・細胞内共生について理解する。 ・大気中の酸素濃度の変化を示す資料にもとづいて、シアノバクテリアの繁栄や真核生物の出現・繁栄が大気組成の変化と関わりがあることを見いだして理解する。	○	○	○	5
	2. 遺伝子の変化と遺伝子の組み合わせの変化 ①遺伝子と変化 資料2 遺伝子の変化と形質との関係について考えよう ②遺伝子の組み合わせの変化 資料3 連鎖している遺伝子の遺伝について考えよう 1. 生物の系統 ①生物の系統と分類 資料4 アミノ酸配列の違いをもとに系統関係が推定できるか考えよう 資料5 平均距離法を用いて系統樹を推定しよう ②細菌(バクテリア)とアーキア(古細菌) ③真核生物(ユーカリア)	・遺伝子の変化と形質との関係を見いだす(資料2) ・遺伝的多型 ・減数分裂と染色体の組み合わせ ・連鎖している遺伝子の組み合わせが変化することを見いだす(資料3) ・組換えと組換え価 ・アミノ酸配列の違いをもとに、系統関係を推定できることを見いだす(資料4) ・分子時計 ・平均距離法により系統樹を作成する(資料5) ・分子系統樹と生物の系統 ・細菌、アーキア、真核生物	・突然変異について理解する。 ・鎌状赤血球症に関する資料にもとづいて、塩基配列の変化が形質に変化を生じさせる場合があることを見いだして理解する。 ・DNAの塩基配列の変化によってアミノ酸配列が変化するしくみを理解する。 ・一塩基多型の存在やその利用について理解する。 ・生物の種によって染色体の数や形、核相が決まっていることを理解する。 ・遺伝子座と遺伝子の関係を理解する。 ・減数分裂における核相の変化について理解する。 ・減数分裂によって生じる配偶子の染色体の組み合わせについて理解する。 ・受精によって生じる染色体の組み合わせについて理解する。 ・遺伝子の連鎖について理解する。 ・交配実験の結果などの資料にもとづいて、連鎖している遺伝子の組み合わせは変化しうることを見いだして理解する。 ・組換えが生じることによって、配偶子の染色体構成が多様化することを理解する。 ・組換え価について理解する。 ・三点交雑の結果から遺伝子間の相対的な位置がわかること、これを用いて染色体地図が描けることを理解する。 ・人為分類と系統分類の違いを理解する。 ・種間に通じてみられるタンパク質のアミノ酸配列の違いにもとづいて系統関係を推定できることを見いだして理解する。 ・分子時計の考え方を理解する。 ・分子時計を用いた種間の類縁関係や分岐時期の推定法を理解する。 ・平均距離法を用いて系統樹を推定する。 ・形態をもとに推定される系統樹が分子系統樹と必ずしも一致しない理由を理解する。 ・生物は、その共通性からいくつかの界やドメインに分けられることを理解する。 ・3つのドメインの系統関係を理解する。 ・細菌に属する生物の特徴を理解する。 ・アーキアに属する生物の特徴を理解する。 ・五界説の考え方では、真核生物に属する生物が、さらに4つに分けられることを理解する。 ・原生生物、植物、菌類、動物の特徴を理解する。 ・植物の系統関係を理解する。 ・動物の系統関係を理解する。 ・二名法による種の表し方を理解する。 ・生物の分類の階級を理解する。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1

2. 人類の系統と進化
①人類の系統と進化
資料6 類人猿と人類の特徴を比較し、人類の進化の過程について考えよう

・霊長類の進化
・類人猿と人類の特徴を比較し、人類の進化の過程について考察する(資料6)
・人類の進化と拡散

・霊長類の進化の過程を理解する。
・霊長類および類人猿の形質の特徴を理解する。
・霊長類に関する資料にもとづいて、ヒトを含む人類の形態的特徴と進化の過程に関連があることに気づき、人類の進化の道筋について考察する。
・直立二足歩行と脳容積の変化との関係について理解する。
・人類の拡散のようすを理解する。

第1節 生体物質と細胞

①細胞を構成する物質

2. タンパク質の構造と性質

①タンパク質の構造と性質

3. 生命現象とタンパク質

①酵素

実験4 カタラーゼの働き

実験5 外的条件がカタラーゼに与える影響について考えよう

②膜輸送タンパク質

③受容体

1. 代謝とエネルギー

①同化と異化

2. 炭酸同化

①光合成と葉緑体

実験6 緑葉に含まれる色素

②光合成の過程

資料8 植物の光合成におけるエネルギーの流れを考えよう

第3節 異化

①呼吸とミトコンドリア

②発酵

・細胞を構成する物質
・界面活性剤を用いた実験から、生体膜の構造について考察する(資料7)
・細胞骨格と細胞小器官
・アミノ酸とペプチド結合
・タンパク質の構造と機能
・基質特異性と立体構造、補酵素
・カタラーゼの働きを確認する(実験4)
・外的条件がカタラーゼに与える影響について考察する(実験5)
・酵素反応と温度、pH
・酵素反応の速度と基質濃度、酵素濃度
・競争的阻害と非競争的阻害
・細胞膜の性質と物質の透過
・膜輸送タンパク質、受容体
・ミトコンドリアの構造
・呼吸におけるエネルギーの流れを見いだす(資料9)
・解糖系、クエン酸回路、電子伝達系
・脱水素酵素を用いて酸化還元反応を確認する(実験7)
・さまざまな呼吸基質と呼吸商
・アルコール発酵と乳酸発酵の過程
・アルコール発酵を確認する(実験8)

・生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解する。
・水、タンパク質、脂質、炭水化物の特徴を理解する。
・界面活性剤を用いた実験の結果から、生体膜の構造を見いだして理解する。
・生体膜は、リン脂質二重層にさまざまなタンパク質がモザイク状に分布したものであることを理解する。
・真核細胞内の細胞骨格や構造体について理解する。
・タンパク質は、アミノ酸がペプチド結合によって多数つながった物質であることを理解する。
・タンパク質の一次構造、二次構造、三次構造、四次構造について理解する。
・タンパク質の立体構造は、機能と密接に関連していることを理解する。
・酵素が基質と結合することで活性化エネルギーが小さくなり、反応が進みやすくなることを理解する。
・酵素の基質特異性を立体構造と関連づけて理解する。
・補酵素について理解する。
・カタラーゼの働きを確かめる実験を正しく実施する。
・加熱によるカタラーゼの働きの変化を検証する実験を立案する。
・酵素の最適温度、最適pHについて理解する。
・酵素反応の阻害には、競争的阻害と非競争的阻害があることを理解する。
・酵素反応ではフィードバック調節がみられることを理解する。
・選択的透過性について理解する。
・受動輸送と能動輸送との違いを理解する。
・チャネルと輸送体との違いを理解する。
・ナトリウムポンプの反応の流れを理解する。
・エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて理解する。
・細胞膜に存在する3種類の受容体について、その特徴と情報伝達のしくみを、それぞれ理解する。
・代謝におけるエネルギーの流れについて理解する。
・同化と異化の違いを理解する。
・代謝では、ATP、NADP⁺、NAD⁺、FADがエネルギーの受け渡しに関わることを理解する。
・葉緑体の構造を理解する。
・植物の葉緑体に含まれる光合成色素の種類と色について理解する。
・吸収スペクトルと作用スペクトルについて理解する。
・緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色とRf値から色素の種類を推測する。
・光合成の概要を示した資料にもとづいて、光合成の過程におけるエネルギーの流れを見いだして理解する。
・チラコイドで起こる反応の過程について理解する。
・カルビン回路の過程について理解する。
・高温や乾燥に適応した植物における二酸化炭素固定の過程について理解する。
・植物の光合成と細菌の光合成・化学合成との違いを理解する。
・ミトコンドリアの構造を理解する。
・呼吸の概要を示した資料にもとづいて、呼吸の過程におけるエネルギーの流れを見いだして理解する。
・解糖系、クエン酸回路、電子伝達系の各過程について理解する。
・ツンベルク管を用いて脱水素酵素による酸化還元反応を実験で確認する。
・脂肪やタンパク質が呼吸基質となった場合、どのような経路で呼吸の過程に入っていくか理解す

○ ○ ○

			<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸商から呼吸基質を推定する。 ・呼吸と発酵の違いについて理解する。 ・アルコール発酵と乳酸発酵の違いを理解する。 ・アルコール発酵において、温度と反応速度の関係を定量的に測定する。 					
	定期考査							1
2 学 期	<p>第1節 DNAの複製 ①DNAの構造と複製 第2節 遺伝子の発現 ①転写 ②翻訳 第1節 遺伝子の発現調節 ①遺伝子の発現調節 第2節 発生と遺伝子の発現 ①動物の配偶子形成と受精 ②ショウジョウバエの発生における遺伝子の発現調節 ③カエルの発生における遺伝子の発現調節 ④発生過程にみられる多様性と共通性</p> <p>第1節 遺伝子を扱う技術 ①遺伝子の単離と増幅 ②遺伝子の構造や発現を解析する方法 ③遺伝子の機能を解析する方法 第2節 遺伝子を扱う技術の応用 ①人間生活への応用 ②遺伝子を扱う際の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造 ・DNAの複製 ・真核生物における転写とスプライシング、翻訳 ・原核生物における転写と翻訳 ・大腸菌が必要に応じて遺伝子発現を調節していることを見いだす(資料10) ・原核生物と真核生物における遺伝子の発現調節 ・動物の配偶子形成と受精 ・ウニの受精を観察する(観察1) ・母性因子と分節遺伝子 ・分節遺伝子の発現のしくみを見いだす(資料11) ・ホメオティック遺伝子 ・カエルの発生 ・中胚葉誘導、神経誘導 ・誘導の連鎖による器官形成 ・Hox遺伝子群 	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAは、2本のヌクレオチド鎖が互いに逆向きに結合した構造をとることを理解する。 ・DNA複製の際に働く各種酵素について理解する。 ・DNA合成酵素が作用するためにはプライマーが必要であることを理解する。 ・DNAの複製の際にはリーディング鎖とラギング鎖が生じることを理解する。 ・半保存的複製を証明した実験手法とその結果の解釈について理解する。 ・RNAのヌクレオチドの種類と構造を理解する。 ・真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。 ・RNAポリメラーゼの働きについて理解する。 ・スプライシングの過程について理解する。 ・選択的スプライシングによって、1種類のmRNA前駆体から2種類以上のmRNAがつけられることを理解する。 ・遺伝暗号表について理解する。 ・リボソームの構造と働きを理解する。 ・翻訳の過程を理解する。 ・原核生物における転写・翻訳の過程について理解する。 ・遺伝子の発現調節に関する資料にもとづいて、状況に応じて必要な遺伝子の発現調節が行われていることを見いだして理解する。 ・調節タンパク質による遺伝子の発現調節について理解する。 ・原核生物におけるラクトースオペロンの発現調節について理解する。 ・真核生物における遺伝子の発現調節について理解する。 ・動物の配偶子の形成過程を理解する。 ・ウニの受精の概要を理解する。 ・ウニの受精卵を用いて、受精膜が形成されるようすを確認する。 ・発生は、体軸の形成、胚の区画化、分化の方向の決定という過程を経て進むことを理解する。 ・母性因子の濃度勾配にもとづいて体軸が決定されることを理解する。 ・ショウジョウバエ胚の分節遺伝子の発現パターンを示した資料にもとづいて、ショウジョウバエの発生の過程においては、遺伝子の発現が段階的に調節されることを見いだして理解する。 ・発生過程において、調節遺伝子が段階的に発現することによって胚の区画化が起こることを理解する。 ・ショウジョウバエの各体節の構造は、ホメオティック遺伝子群の発現パターンにより決定されることを理解する。 ・カエルの発生過程を理解する。 ・中胚葉誘導について理解する。 ・神経誘導のしくみを理解する。 ・誘導の連鎖によって器官が形成されることを、眼の形成を例に理解する。 ・器官形成には複数の遺伝子の発現調節が大きく関わっていることを理解する。 ・器官形成のしくみには、生物間で共通性がみられることを理解する。 ・脊椎動物と節足動物の背腹軸の形成にみられる相違点と共通点を理解する。 ・Hox遺伝子群について理解する。 				27	
2 学 期	定期考査							1

2 学 期	<p>第1節 刺激の受容と反応</p> <p>①刺激の受容と反応</p> <p>②神経系とニューロン</p> <p>③ニューロンによる電気的な信号の生成とそれを伝えるしくみ</p> <p>④受容器</p> <p>⑤中枢神経系の構造と反応</p> <p>⑥効果器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューロンの構造 ・活動電位、興奮の伝導と伝達 ・EPSPとIPSP、シナプス後電位の加重 ・眼の構造と光を受容するしくみ ・耳の構造と聴覚が生じるしくみ ・右眼の盲斑の形を調べる（実験10） ・脳の構造と機能、脊髄と反射 ・骨格筋の構造 ・神経筋標本を用いて、運動ニューロンと筋収縮の関係を見いだす（資料12） ・筋収縮が起こるしくみ ・ニューロンの構造 ・活動電位、興奮の伝導と伝達 ・EPSPとIPSP、シナプス後電位の加重 ・眼の構造と光を受容するしくみ ・耳の構造と聴覚が生じるしくみ ・右眼の盲斑の形を調べる（実験10） ・脳の構造と機能、脊髄と反射 ・骨格筋の構造 ・神経筋標本を用いて、運動ニューロンと筋収縮の関係を見いだす（資料12） ・筋収縮が起こるしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物は受容器で刺激を受容し、中枢神経系を経て効果器に情報を伝えることで、刺激に対して反応していることを理解する。 ・ニューロンの構造について理解する。 ・有髄神経繊維の構造について理解する。 ・ヒトの神経系の構成について理解する。 ・静止電位が生じるしくみを理解する。 ・活動電位が生じるしくみを、チャンネルの働きとイオンの流れと関連づけて理解する。 ・全か無かの法則について理解する。 ・刺激の強さに応じて、感覚の強さが変化するしくみを理解する。 ・跳躍伝導のしくみを理解する。 ・シナプスを介した興奮の伝達を、チャンネルとイオンの動きから理解する。 ・シナプス後電位の加重について理解する。 ・ヒトの各受容器に対する適刺激を理解する。 ・刺激が中枢に伝わる過程とその特徴について理解する。 ・眼の構造について理解する。 ・桿体細胞と錐体細胞の分布や、吸収する光の特徴を理解する。 ・明順応と暗順応におけるロドプシンの分解と合成について理解する。 ・眼の遠近調節における水晶体の厚さの変化について理解する。 ・盲斑検査を実施する。 ・耳の構造と聴覚が生じるしくみを理解する。 ・平衡覚が生じるしくみを理解する。 ・嗅覚が生じるしくみを理解する。 ・脳の構造と各領域の働きを理解する。 ・シナプス可塑性による記憶の形成について理解する。 ・脊髄の構造について理解する。 ・反射のしくみと反射弓について理解する。 ・骨格筋の構造を理解する。 ・神経筋標本に関する資料にもとづいて、運動ニューロンの興奮頻度と筋収縮のしくみとの関連について理解する。 ・筋収縮において、フィラメントが滑り込むしくみについて理解する。 ・生得的行動と習得的行動の特徴を、神経回路の変化の有無の違いから理解する。 ・かき刺激によって特定の行動が引き起こされることを理解する。 ・固定的動作パターンについて理解する。 ・バッタの飛翔に関わるCPGのモデルをもとに、リズムカルな運動が生じるしくみを理解する。 ・アメフラシのえら引つ込め反射に関する資料にもとづいて、えら引つ込め反射に関わる神経系の電気的特性と、慣れが生じるしくみを見いだして理解する。 ・アメフラシの慣れ、脱慣れ、鋭敏化のしくみについて理解する。 ・古典的条件付けについて理解する。 ・ミツバチの吻伸展反射と古典的条件付けを利用して、ミツバチが色を知覚できるかどうかを調べる実験を立案する。 ・刷込みや臨界期について理解する。 ・試行錯誤と知能行動について理解する。 ・ダイコンの芽ばえがリンゴの果実から受ける影響を調べる実験にもとづいて、リンゴから放出される物質が、ダイコンの芽ばえの成長や反応に影響を与えることを見いだして理解する。 ・植物ホルモンの特徴について理解する。 ・植物体内での物質輸送のしくみについて理解する。 ・被子植物の配偶子形成と重複受精について理解する。 ・被子植物の胚発生の過程を理解する。 ・頂端—基部軸が形成されるしくみを理解する。 ・種子形成の過程について理解する。 ・種子の休眠と発芽には植物ホルモンが関与することを理解する。 ・光発芽種子における発芽と光の関係について理解する。 ・フィトクロムの働きと光発芽の関係を理解する。 ・光発芽のしくみにより、光発芽種子をつくる植 	○ ○ ○	27
	<p>第2節 動物の行動</p> <p>①動物の行動</p> <p>②生得的行動</p> <p>③習得的行動と学習</p> <p>第1節 植物と環境</p> <p>①植物の刺激の受容と情報の伝達</p> <p>第2節 植物の一生と植物ホルモン</p> <p>①被子植物の受精と胚発生</p> <p>②種子の発芽と光環境</p> <p>③植物の環境応答と成長</p> <p>④花芽形成と花の形成</p> <p>⑤果実の成長と成熟、落葉・落果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生得的行動と習得的行動 ・固定的動作パターン、中枢パターン発生器 ・慣れが起こるしくみを見いだす（資料13） ・脱慣れと鋭敏化 ・さまざまな習得的行動 ・被子植物の受精と胚発生 ・種子の休眠と発芽 ・光発芽種子と暗発芽種子、光受容体 ・オーキシンの働き ・光屈性、重力屈性 ・花芽形成と光 ・ABCモデル 	<ul style="list-style-type: none"> ・アメフラシの慣れ、脱慣れ、鋭敏化のしくみについて理解する。 ・古典的条件付けについて理解する。 ・ミツバチの吻伸展反射と古典的条件付けを利用して、ミツバチが色を知覚できるかどうかを調べる実験を立案する。 ・刷込みや臨界期について理解する。 ・試行錯誤と知能行動について理解する。 ・ダイコンの芽ばえがリンゴの果実から受ける影響を調べる実験にもとづいて、リンゴから放出される物質が、ダイコンの芽ばえの成長や反応に影響を与えることを見いだして理解する。 ・植物ホルモンの特徴について理解する。 ・植物体内での物質輸送のしくみについて理解する。 ・被子植物の配偶子形成と重複受精について理解する。 ・被子植物の胚発生の過程を理解する。 ・頂端—基部軸が形成されるしくみを理解する。 ・種子形成の過程について理解する。 ・種子の休眠と発芽には植物ホルモンが関与することを理解する。 ・光発芽種子における発芽と光の関係について理解する。 ・フィトクロムの働きと光発芽の関係を理解する。 ・光発芽のしくみにより、光発芽種子をつくる植 	○ ○ ○	

		<p>物は生育に適さない光環境で発芽しないようになって理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 植物細胞の成長において、オーキシンが作用するしくみを理解する。 オーキシンが極性移動することを理解する。 植物の屈性と傾性がどのような現象かを理解する。 オーキシンの移動による屈性のしくみを理解する。 光屈性にはフォトトロピンが関わることを理解する。 重力屈性のしくみを理解する。 光屈性に関する研究史について理解する。 気孔の開閉のしくみを理解する。 光周性について理解する。 花芽形成には連続した暗期が必要であることを理解する。 花芽形成に関わる光受容体について理解する。 花芽形成を促進するタンパク質の働きについて理解する。 春化について理解する。 ABCモデルにもとづく花の形成について理解する。 植物のホメオティック突然変異体を、ABCモデルと関連づけて理解する。 果実の成熟や落葉、落果と植物ホルモンの関係を理解する。 	○	○	○	
定期考査			○	○	○	1
<p>第1節 個体群と生物群集</p> <p>①個体群とその特徴</p> <p>②個体群の変動と維持</p> <p>③個体群内の相互作用</p> <p>④個体群間の相互作用</p> <p>⑤多様な種が共存するしくみ</p> <p>第2節 生態系の物質生産と消費</p> <p>①物質生産</p> <p>②物質とエネルギーの移動</p> <p>第3節 生態系と人間生活</p> <p>①生態系と生物多様性</p> <p>②人間活動と生態系の変化</p> <p>③生物多様性の保全とその意義</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個体群と分布様式 個体群の成長のようすを観察する（観察2） 個体群が成長しつづけない要因を確認する（観察3） 個体群内のさまざまな相互作用 個体群間の相互作用 異種のゾウリムシ類の間にみられる関係性を見いだす（資料14） 多様な種が共存するしくみ、ニッチ 物質生産 層別刈取法により生産構造図を作成する（観察4） 炭素の循環 物質収支 エネルギーの流れを見いだす（資料15） 窒素の循環 生物多様性 化学肥料の使用が水界生態系に与える影響を見いだす（資料16） 人間活動と生態系の変化 生物多様性を保全する意義 生態系に影響を与える人間活動 	<p>1. 個体群と生物群集</p> <p>①個体群とその特徴</p> <p>②個体群の変動と維持</p> <p>観察2 個体群の成長のようすを観察しよう</p> <p>観察3 ウキクサの個体群が成長し続けない要因を確かめよう</p> <p>③個体群内の相互作用</p> <p>④個体群間の相互作用</p> <p>資料14 異種のゾウリムシ類の間にみられる関係性について考えよう</p> <p>⑤多様な種が共存するしくみ・個体群と相互作用について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個体の分布様式、およびそれぞれがどのような生活に適しているのかを理解する。 標識再捕法について理解する。 生存曲線について理解する。 年齢ピラミッドについて理解する。 個体群密度に関する観察にもとづいて、個体群の成長が抑制される要因を見いだして理解する。 最終収量一定の法則や相変異などを例に、個体群密度が、個体や個体群に影響を与えることを理解する。 環境と個体群の変動の大きさと関係について理解する。 群れや縄張りの大きさが決まるしくみを理解する。 順位制やつがい関係 共同繁殖 社会性昆虫に 				1

<p>生態系に影響を与える人間活動と保全について調べる（調査1）</p>	<p>について理解する。 ・血縁度と包括適応度の考え方を理解する。 ・捕食者と被食者の個体数変動を理解する。 ・共生および寄生の関係を理解する。 ・ゾウリムシ類の個体群の変動を示す資料にもとづいて、個体群間の関係性を見いだして理解する。 ・ニッチの概念を理解する。 ・種間競争による競争的排除のしくみを理解する。 ・間接効果について理解する。 ・ニッチの分割による多様な種の共存を理解する。 ・基本ニッチと実現ニッチの比較から、競争の有無や程度がわかることを理解する。 ・形質置換について理解する。 ・中規模攪乱説について理解する。 ・キーストーン種が多種の生物の共存を可能にするしくみを理解する。</p> <p>2. 生態系の物質生産と消費 ①物質生産 観察4 層別刈取法による生産構造図の作成 ②物質とエネルギーの移動 資料15 セダーボック湖におけるエネルギーの流れについて考えよう</p> <p>・生態系における物質生産について理解する。 ・生産構造図について理解する。 ・植物群集ごとに特徴的な生産構造を示すことを理解する。 ・層別刈取法によって生産構造を調べ、その結果をもとに生産構造図を作製する。 ・生態系によって物質生産の特徴が異なることを理解する。 ・生態系内における炭素の循環を理解する。 ・物質取支について理解する。 ・物質取支に関する資料にもとづいて、捕食-被食の関係に伴うエネルギーの流れを見いだして理解する。 ・エネルギーは生態系内を一方方向に移動することを理解する。 ・エネルギー効率について理解する。 ・栄養段階が上がるごとに個体数が減少することを、利用できるエネルギー量と関連づけて理解する。 ・生態系内における窒素の循環を理解する。 ・窒素同化と窒素固定の違いを理解する。 ・脱窒について理解する。</p> <p>3. 生態系と人間生活 ①生態系と生物多様性 ②人間活動と生態系の変化 資料16 化学肥料の使用が水界生態系に与える影響を考えよう ③生物多様性の保全とその意義 調査1 生態系に影響を与える人間活動と保全について調べよう ・生物多様性の3つのとらえ方を理解する。 ・化学肥料の使用による植物プランクトン量の変化などの資料にもとづいて、化学肥料が生態系にどのような影響を与えるかを見いだして理解する。 ・生息地の分断や乱獲、地球温暖化、海洋汚染、外来生物の侵入などを例に、人間活動が生態系に及ぼす影響について理解する。 ・個体群の大きさの縮小により絶滅の危険性が高まることを理解する。 ・生態系サービスにはどのようなものがあるかを理解する。 ・私たちの生活と生態系との関わりから、生物多様性を保全することの重要性を認識する。 ・生態系に影響を与える人間活動と保全活動について積極的に調査し、調査結果を報告書などにまとめる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p></p>	<p></p>	<p>32</p>
<p>合計 140</p>					

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1組～5組：村井・林・秋澤・下村・稲垣）

使用教科書：

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>B 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○ 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する ○ 目的に適した運動の計画を立て取り組む <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に自主的に取り組む ・互いに助け合い教え合おうとする ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする ・話合いに貢献しようとする ・健康・安全を確保する 	○	○	○	4
<p>種目選択学習</p> <p>E球技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 <ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 <ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする <p>【思考・判断・表現】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組む ・フェアなプレイを大切にしようとする ・作戦などについての話合いに貢献しようとする ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・互いに助け合い教え合おうとする 	○	○	○	12

<p>学期</p>	<p>継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 健康・安全を確保する 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 健康・安全を確保しようとしている。 				
	<p>D 水泳</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>(3) 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 個人ワーク グループワーク 学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する 効率的に泳ぐ <ul style="list-style-type: none"> ※クロール <ul style="list-style-type: none"> 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする ※平泳ぎ <ul style="list-style-type: none"> 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする <p>【思考・判断・表現】</p> <p>泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水泳に自主的に取り組む 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする 自己の責任を果たそうとする 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする 水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する 	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>10</p>
	<p>E球技</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指導事項 個人ワーク グループワーク 学習カード記入 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する <ul style="list-style-type: none"> ※ゴール型 <ul style="list-style-type: none"> 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 <ul style="list-style-type: none"> 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 <ul style="list-style-type: none"> 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする <p>【思考・判断・表現】</p> <p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技に自主的に取り組む フェアなプレイを大切にしようとする 作戦などについての話合いに貢献しようとする 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする 互いに助け合い教え合おうとする 健康・安全を確保する 	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>24</p>

	<p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>						
2学期	<p>H体育理論 【知識及び技能】 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 (ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。 (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。 (ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。 (エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。 【思考力、判断力、表現力等】 イ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ウ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 ・教材 ・ワークシート記入</p>	<p>○ スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する ※ スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること ※ 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること ※ 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること ※ スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること</p>	○	○	○	4
	<p>球技 【知識及び技能】 (1) 次の運動について、勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 (3) 球技に主体的に取り組むと</p>	<p>・指導事項 ・個人ワーク ・グループワーク ・学習カード記入</p>	<p>【知識・技能】 ○ 勝敗を競う楽しさや喜びを味わう ○ 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する ○ 作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する ※ゴール型 ・ 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をする ※ネット型 ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする ※ベースボール型 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をする 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 球技に自主的に取り組む ・ フェアなプレイを大切にしようとする ・ 作戦などについての話し合いに貢献しようとする ・ 一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする ・ 互いに助け合い教え合おうとする ・ 健康・安全を確保する</p>	○	○	○	16
							合計

もに、ノエノなノレイを大切にしよう
とすること、合意形成に貢献しよ
うとすること、一人一人の違いに応
じたプレイなどを大切にしようとす
ること、互いに助け合い高め合おう
とすることなどや、健康・安全を確
保
すること。

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科：外国語

科目 英語コミュニケーションⅢ

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組・5組

教科担当者：（1組：品田・西塚）（23組：品田・西塚・太田（小倉））

使用教科書：（Power On English Communication Ⅲ（東京書籍））

教科 外国語

の{

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の{

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Lesson 1 Library of the Future 【知識及び技能】 現在分詞の分詞構文、関係副詞 where を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 理想の図書館について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・日本の最近の図書館とニューヨーク公共図書館についての新聞記事 ・現在分詞の分詞構文、関係副詞 where ・説明する、理由を述べる、紹介する、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による現在形・過去形に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「ニューヨーク公共図書館」や「日本の図書館」についての対話や作文力の Speaking・Writing テストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	8
定期考査							○	○		1	
Lesson 2 History Maker Otani Shohei 【知識及び技能】 現在完了進行形、be 動詞 + to 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自分の好きなスポーツ選手について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・メジャーリーガーの大谷翔平選手の人物伝。 ・現在完了進行形、be 動詞 + to 不定詞 ・感謝する、質問する、紹介する、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による現在完了進行形、be 動詞 + to 不定詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「生き物の医療研究」についての対話や作文力の Speaking・Writing テストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals 【知識及び技能】 比較表現、S+V [使役] +O+C [原形不定詞] を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 興味のある職業について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・動物の歯科医の仕事についての科学記事 ・比較表現、S+V [使役] +O+C [原形不定詞] ・質問する、依頼する、相づちを打つ、感謝する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 定期考査による動名詞、不定詞に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「スポーツ選手のインタビュー」についての対話や作文力の Speaking・Writing テストによる確認 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	12
Lesson 4 Nature Photographer in Alaska 【知識及び技能】 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what、分詞構文を用いた文の形・	・写真家の松本紀生さんの半生や作品についての雑誌記事 ・関係代名詞の非制限用法関係代名詞 what、分詞構文 ・説明する、紹介する、理由を述べる、発表する						【知識及び技能】 定期考査による関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what、分詞構文の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「日本のマンガ」についての対話や作文力				

1
学
期

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 総合英語

教科： 外国語 科目 総合英語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組・ 5 組

教科担当者： (1～5組：品田)

使用教科書： (Switch 4 (文英堂))

教科 外国語 の{

【知識及び技能】 日常的な話題について、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、より多様な表現を活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自発的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の{

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的な話題について、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、より多様な表現を活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自発的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 [や]	話 [発]	書					
1 学 期 Unit 1～3 【知識及び技能】 職業に関する説明文を読んで、概要や要点を捉えて情報を整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 英文内容を正確に理解し、自分でまとめ、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・アスリートコーチとビジネスマネージャーの相違点。 ・動物園に関するエッセイ	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 単元別テストにて、本文の内容・語句等を理解しているか確認。 【思考力、判断力、表現力等】 単元別テストにおいて、論理的展開の内容を理解しているか確認。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	14
	定期考査							○	○		
Unit 4～6 【知識及び技能】 リサイクルに関する説明文を読んで、概要や要点を理解し、論理展開をつかむことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化に関する論説文を読んで、筆者の主張を理解し、意見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・ランニングシューズに関わる人物の語り文 ・リサイクルに関する論説文 ・質問する、説明する、理由を述べる、発表する	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 単元別テストによる長文読解力に関する事項の理解度の確認【思考力、判断力、表現力等】 「語り文」についての対話や作文力の Speaking・Writingテストによる確認【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	12
	定期考査							○	○		
Unit 7～9 【知識及び技能】 複数のレポートを読んで、必要な情報をつかみ、書き手の意図を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語文を読んで情報を時系列に沿って整理し、概要を理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 題材に興味、関心をもち、積極的に授業に参加する態度を身に付ける。	・レポート文 ・物語文 ・異文化結婚に関する論説文。	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 単元別テストによる長文読解力に関する事項の理解度の確認 【思考力、判断力、表現力等】 「語り文」についての対話や作文力の Speaking・Writingテストによる確認【学びに向かう力、人間性等】 提出物等全体を通しての意欲の確認	○	○	○	10
	定期考査							○	○		

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭

科目 家庭総合

教科： 家庭

科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （ 1 組： 井上 ） （ 2 組： 井上 ） （ 3 組： 井上 ） （ 4 組： 井上 ） （ 5 組： 井上 ） （ 組： ）

使用教科書： （ 実教出版 家庭総合、2023生活学Navi ）

教科 家庭総合

の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第10章 経済的に自立する。 1節 暮らしと経済 【知識及び技能】 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・収入と支出にはどのような項目があるのか学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・適切な家計管理について考える。	・指導事項 ①家庭経済と国民経済、国際経済の関係性に気づく。 ②家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 【思考・判断・表現】 ・現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
2節 将来のライフプランニング 【知識及び技能】 ・将来のライフイベントや起こり得るリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	・指導事項 ①生活設計とかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考・判断・表現】 ・将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○		2
第2章 自分らしい生き方と家族 3節 共に生きる家族 【知識及び技能】 ・結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ①「家族」の条件とは何か考える。 ②家族のライフイベントについて考える。 ③家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・結婚、家族・家庭の多様化や、時代とともに変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・図表などから家族の形、家庭のあり方や役割について、また時代とともに変化した背景について読みとることができ、現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め、表現することができる。 ・家族・家庭に関する課題・問題点について、社会的な制度、労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し、解決へ導くための考えをまとめ、討論やレポートを通して発表することができる。 ・家族の変遷や家族に関する意識の変化、さらには、現在の家族の抱える問題・課題などについて、新聞や書籍などから情報を収集し、自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・結婚、家族・家庭の形、家族・家庭の役割について、自分とどうかかわっているのか、興味・関心を持つようとしている。	○	○	○	3
4節 家族に関する法律 【知識及び技能】 ・家族に関する法律の理念や背景、改正点について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・法律は自分たち一人ひとりの認識にもとづく社会の要請を受けて検討、改正されていくことを理解する。	・指導事項 ①家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめて話し合う。 ②家族の抱える問題について学び、具体的なサポートのあり方について考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家族に関する法律についての知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族、家庭生活に関する法律について関心を持ち、家庭生活と法律との関係について、理解しようとしている。	○		○	3
第3章 子どもとかわる 1節 子どもとは 【学びに向かう力、人間性等】 ・育児を学ぶ意義について理解する。 ・10代の健康が、将来生まれてくる子どもにつながっていることを理解	・指導事項 ①青年期の健康を学ぶことで、次世代を担う子どもを育て、はぐくんでいくことの責任感を養う。 ②子どもの感じ方についての例を出しあう。 ・教材	【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもの世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味・関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもとかわりながら、理解しようとする。 ・生命の尊さについて、自分の現在、将来と結びつけながら、学習しようとする意欲がある。			○	3

	する。 ・子どもの世界と出会うことによつて、自己理解を深める。	教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等							
	2節 子どもの発達 【知識及び技能】 ・子どもの誕生、子どもの心身の発達と特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもは、親や保育者などの身近な大人とのかかわりあいの中で発達していくことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ①子どもの発達について考える。 ②子どものからだの成長のようすを学ぶ。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・子どもの心身の発達、現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について、課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。		○	○	3		
	3節 子どもの生活 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの食生活・衣生活、遊びについて理解を深める。	・指導事項 ①子どもの頃を振り返ることで、基本的な生活習慣や社会的な生活習慣の身につけ方を学ぶ。 ②子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもとかわれるようにする。 ③絵本づくりや読み聞かせを通して、子どもの遊びの意義や課題について考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもとの接し方、子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもとふれあう体験学習や、子どものおもちゃづくり、お菓子づくりなどの実践活動に、積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持つようとしている。		○		○	3	
	4節 子どもをほぐくむ 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもを生み、育てる意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	・指導事項 ①子育て中の親とかわることで、現代の親子にかかわる課題と、解決の方向性を探る。 ②保育所などで実際に子どもとふれあう。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生命の尊さ、子育ての意義について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・子どもとふれあう体験学習や、実践活動などについて、目的の設定、体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ、また、体験学習の成果や反省などについて、レポートを通して表現することができる。 ・準備、実施、考察・反省まで、体験学習の一連の学習内容をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。		○	○	○	3	
	5節 子どものための社会福祉 【知識及び技能】 ・子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの権利と福祉の歩みについて理解する。	・指導事項 ①子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる。 ②・世界の子どもの未来に向けての課題解決の方法を考える ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・子どもの発達段階において、子どもをとりまく人とかかわり、地域環境・社会環境の重要性、子どもの福祉について理解できる 【思考・判断・表現】 ・子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて、情報を収集し、まとめることができる。		○	○		2	
	定期考査				○	○		1	
2 学 期	第4章 高齢者とかわる 1節 高齢社会に生きる 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 ・高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	・指導事項 ①これまでの高齢者とかかわりを振り返る。 ②高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート	【思考・判断・表現】 ・高齢社会の課題やその解決に向けて、新聞記事などを収集分析し、自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者とかかわろうとしている。			○	○	4	
	2節 高齢者を知る 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者と家族とかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。	・指導事項 ①高齢者についてのイメージをまとめる。 ②高齢者の生活場面を体験する。 ③高齢者と家族とかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。 ・教材 教科書・資料集 ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 ・高齢者へのインタビューなどで高齢者を知り、高齢者とかかわることで、高齢社会に関する課題を導き出すことができ、それをレポートなどで表現することができる。			○	○	4	
	3節 高齢者の自立を支える 【知識及び技能】 ・要介護の高齢者に対して必要な心がけを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常生活を手助けできる介助の技術を身につける。	・指導事項 ①要介護の高齢者との接し方を考える。 ②高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ③日常生活の介助を体験する。 ・教材 教科書・資料集	【知識・技能】 ・日常生活の基本的な介助の方法を、介助実習を通して身につけることができる。 ・基礎的な日常生活の介助の方法について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 介助実習においては、積極的に参加し、高齢者の状況を把握しようとしている。			○		○	4
	4節 高齢社会を支えるしくみ 【知識及び技能】 ・介護保険制度について理解する。 ・介護をめぐる課題について理解する。	・指導事項 ①高齢者施設での利用者の過ごし方、どんな人が働いているのかについてまとめる。 ②介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。	【知識・技能】 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。 ・高齢者の生活における地域社会の役割、地域福祉の重要性について理解できる。			○			4

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

家庭

科目 服飾手芸

教科： 家庭

科目： 服飾手芸

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1組～5組：飯塚 真由)

使用教科書： (なし)

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 服飾手芸

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
服飾にかかわる歴史や布の構成、製作の技法について理解しているとともに、製作物に適する裁縫技術を身につけている。	様々な技法を用いて、適切な方法で製作をするとともに、製作状況を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどしている。	製作に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりするとともに、自身の衣生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	和服(浴衣)の製作	・浴衣の構成について ・基礎縫い ・浴衣の製作	【知識・技能】 浴衣の構成や歴史、製作に用いる技法について理解しているとともに、浴衣の製作にかかわる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 様々な技法を用いて、適切な方法で浴衣を制作しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 見た目や着心地を意識し、工夫・改善しながら浴衣を制作することができている。	○	○	○	26
	和服(浴衣)の製作	・浴衣の製作	【知識・技能】 浴衣の構成や歴史、製作に用いる技法について理解しているとともに、浴衣の製作にかかわる技能を身につけている。 着付けの方法を理解し、実践することができる。 【思考・判断・表現】 様々な技法を用いて、適切な方法で浴衣を制作しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 見た目や着心地を意識し、工夫・改善しながら浴衣を制作することができている。	○	○	○	10
2 学期	刺しゅう作品の製作	・刺しゅうの基礎 ・クロスステッチ	【知識・技能】 刺しゅう作品の製作に用いる技法について理解しているとともに、製作にかかわる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 様々な技法を用いて、適切な方法で刺しゅうを行おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色遣いや細部を意識し、工夫・改善しながら作ることができている。	○	○	○	18
	自由製作	・編み物の基礎 ・製作技術の応用	【知識・技能】 編み物作品の製作に用いる技法について理解しているとともに、製作にかかわる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 様々な技法を用いて、適切な方法で編み物の製作を行おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 毛糸の張りや細部を意識し、工夫・改善しながら作ることができている。	○	○	○	16
3 学期							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭 科目 フードデザイン

教科： 家庭 科目： フードデザイン 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組 選択者

教科担当者： 井上

使用教科書： （教育図書 家庭702「フードデザイン Food Changes LIFE」）

教科 フードデザイン

の目標：

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、美観的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食生活を総合的にアサインするとともに食育を推進し、食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。
 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 フードデザイン

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を体系的に理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を見出し、思考を深め、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	食生活に関する諸問題に関心をもち自ら学び、食育の推進に向けて、積極的に取り組もうとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 健康と食生活 ① 食事の意義と役割 ・ 食べることは生きるための意味合いだけでなく、さまざまな役割があることを理解するとともに、家族や仲間と共に食事する意義を知る。	1. なぜ食べるのだろうか。 ・ 教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・ 毎日の食事にとどのような役割があるか理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 食事の役割をふまえて、自らの食生活を正しく評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 食事の役割を自分ごととしてとらえ、自分の食生活を見直そうとしている。	○	○	○	1
② 食を取り巻く現状 ・ 朝食の欠食や肥満・やせなどの問題を、青年期の食生活と関連づけて考える。 ・ 食生活の変化に目を向け、食事の外部化について理解する。 ・ 食生活と生活習慣病の関係を理解し、どのような点に注意すればよいかを考える。 ・ 各国の栄養素の摂取状況について知り、現代の日本の食生活の問題点について考える。	1. 青年期の食生活 2. 食生活の変化 一食の外部化の進行 3. 現代の食生活の課題 4. 栄養素等の摂取状況 5. 食品の流通と変化 ・ 教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・ 日本の食生活の現状と、青年期の食生活の課題を理解している。 ・ よくない食生活と、それによって引き起こされる生活習慣病について理解している。 ・ 栄養素の摂取量や比率は時代によって変化していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 日本の食生活の課題を把握し、自身の食生活について考察している。 ・ 将来の健康の基礎が青年期の食生活と関係していることに気づくことができている。 ・ 生活習慣病の原因や症状を調べ、話し合ったり発表したりすることができている。 ・ 栄養素の摂取量や比率が変わることで、私たちにどのような影響があるか考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 青年期の食生活の特徴を自らの生活と比較し、食生活を改善しようとしている。 ・ 生活習慣病を自分ごととして捉えようとしている。 ・ 栄養素の適正な摂取量や比率について考えようとしている。	○	○	○	2
第2章 栄養素と食品 ① 栄養素と消化・吸収 ・ 日々の食生活から消化・吸収された栄養素が私たちのからだをつくっていることを理解する。 ・ 五大栄養素それぞれのもつ特有のはたらきについて理解する。	1. からだは何でできている 2. 消化・吸収のしくみ 3. 栄養素の役割 ・ 教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・ からだの構成成分と栄養素について基礎的な知識を身に付けている。 ・ 食品の消化と吸収のしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ からだの構成成分と栄養素の働きから、食事の大切さについて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ からだの構成成分と栄養素の学習を、自らの健康と関連づけて考えようとしている。	○	○	○	1
② 各栄養素のはたらき ・ 炭水化物の種類と役割、代謝について理解する。 ・ 脂質の種類と役割、代謝について理解する。 ・ たんぱく質の種類と役割、代謝について理解する。 ・ ビタミンの種類と役割について理解する。 ・ 無機質（ミネラル）の種類と役割について理解する。 ・ 水の役割とファイトケミカルについて理解する。	1. 炭水化物 2. 脂質 3. たんぱく質 4. ビタミン 5. 無機質（ミネラル） 6. 水とその他の栄養素 ・ 教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・ 栄養素の種類と役割について、科学的に理解している。 ・ 水もからだを維持するために大切な要素であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ からだの中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのかについてまとめたり、発表したりすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質（ミネラル）などの種類、役割について食生活と関連づけて関心を持つようとしている。	○	○	○	7
③ 食品とその特徴 ・ さまざまな食品について、それぞれの特徴とその調理性、加工について理解する。 ・ 加工食品や健康食品などの食品について正しい知識を身に付ける。	1. 穀類 / 2. いも類 3. 砂糖類・甘味料 / 4. 豆類 5. 種実類 / 6. 野菜類 7. 果実類 / 8. きのこと類 9. 海藻類 / 10. 魚介類 11. 肉類 / 12. 卵類 13. 牛乳・乳製品 / 14. 油脂類 15. 寒天・ゼラチン / 16. 嗜好食品 17. 調味料・香辛料 / 18. 加工食品	【知識・技能】 ・ 食品の特徴、調理上の性質、調理の特徴や加工などについて理解している。 ・ 身の回りの加工食品と、加工の目的を理解している。 ・ 健康食品の種類と気をつけるべき情報を収集、整理している。 【思考・判断・表現】 ・ 栄養素と食品の学習を結びつけ、日常の食事の改善点に	○	○	○	9

1 学期

	17. 調味料・香辛料 / 18. 加工食品 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	・おいしくしている。 ・食品の加工について身近な事例と結びつけて考察している。 ・健康食品の情報や表示を正しく判断できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の種類と特徴についての知識を、自分や家族の健康のために活用しようとしている。 ・食品の調理性などについて、実験などを通して科学的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
④ 何をどれだけ食べる？ ・日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすについて知り、自分に必要な栄養素や食品について考える。 ・年齢や性別、運動量などによって、必要とされる栄養素に違いがあることを知り、ライフステージごとの特徴を理解する。	1. 日本人の食事摂取基準 2. 食品群別摂取量のめやす 3. ライフステージと栄養 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・食事摂取基準が、健康維持・増進、また生活習慣病の予防を目的としていることを理解している。 ・各ライフステージの栄養について理解している。 ・「日本人の食事摂取基準」や「4つの食品群による摂取量のめやす」などを活用し、ライフステージに応じた食事計画を立てる力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・食事バランスガイドと自分の食生活を結びつけて考察している。 ・ライフステージによってなぜ必要とされる食事が異なるのかを考えている。 ・からだの中で栄養素がどのような働きをするのかを考え、各ライフステージにおける食事の課題を発見し、その解決に向けて工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各ライフステージにおける栄養素の特徴を知り、それぞれのライフステージに応じた食事計画を活用しようとしている。	○	○	○	3
第3章 食品の選択と取り扱い ① 食品選択のコツ ・食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができるようになる。 ・食物アレルギーについて理解する。	1. 食品の選択 2. 食品の表示 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・生鮮食品の選び方のコツを身に付けている。 ・加工食品の表示を読み解く技術を身に付けている。 ・食物アレルギーと表示について理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品を選ぶ際に、安全や衛生に配慮して適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活で食品の表示をチェックし、食生活をより良くするために活用しようとしている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
2 学 期						
② 食品の衛生と安全 ・食中毒の種類や危険性について知り、適切な予防ができるようになる。	1. 食中毒とは？ 2. 食中毒の種類 3. 食中毒の予防 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・食中毒の特徴を知り、リスクを減らす技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・食中毒が起こりうる状況を理解し、注意しなければならない場面について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の衛生に関心を持ち、生活に活かそうとしている。	○	○	○	2
③ 食の安全を考えて選ぶ ・遺伝子組換えやクローンなど、食に関する技術について理解する。 ・農業や食品添加物の安全性の基準について理解する。 ・食の安全を確保するための制度や機関について知る。 ・食についてのメディアリテラシーを身に付ける。	1. 食の安全を考える 2. 添加物（食品添加物） 3. 食の安全制度と情報 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・食品の安全を守るためにさまざまな制度があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全を守る制度について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な食品の表示について調べたり、インターネットを利用して、食に関するキーワードを調べようとしている。	○	○	○	1
第4章 調理してみよう ① なぜ調理するのか ・調理にはさまざまな機能があることを理解する。 ・食べ物のおいしさには何が影響するか考える。	1. 安全性の向上 2. 栄養性の向上 3. おいしさの向上 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・安全性、栄養性、おいしさなどの面から、調理の目的を理解している。 ・食べ物の味が影響を受けている要素を理解している。 【思考・判断・表現】 ・食べ物のおいしさに関わる要因について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実際にさまざまな調理操作を試して、取り組もうとしている。	○	○	○	1
② 調理操作と調理器具 ・非加熱操作と非加熱調理の種類と、用いる調理器具について知る。 ・加熱操作・加熱調理の種類と、用いる調理器具について知る。 ・調理器具の特徴としくみを理解し、正しく使用できるようになる。	1. 非加熱操作 2. 非加熱調理 3. 加熱操作・加熱調理 4. 加熱（調理）機器 5. 調理器具とその素材 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・非加熱調理と加熱操作の種類とそれぞれの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・調理操作が料理の出来上がりに与える影響を、具体的に考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・調理器具の特徴としくみを理解し、具体的に試してみようとしている。	○	○	○	1
献立を立ててみよう ・食事テーマを設定し、それに応じた献立を具体的に考える。 ・和風料理、洋風料理、中国料理、多国籍料理、行事食など、さまざまな献立に取り組み、調理技術を習得する。	1. 献立の構成 2. 献立作成の要素 3. 献立を立てる 調理実習 和風料理、洋風料理、中国料理、行事食、SDGsを意識した料理、災害時の食 ・教材 教科書、資料集、ワークシート	【知識・技能】 ・献立の構成や栄養、嗜好、費用、食品、調理法、季節感などの要素を理解している。 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について理解している。 ・衛生面と安全に配慮した食品の取り扱いと、調理操作を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・食事テーマを具体的に設定し、それに適した献立を考え、適切に食材の選択することができている。 ・環境に配慮した食材の選択や調理方法を考え、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法に意欲、関心を持って取り組もうとしている。	○	○	○	22
定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>第5章 各国料理とコーディネート</p> <p>① 料理の様式</p> <ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の特徴を理解する。 各様式の献立構成、食卓構成、作法を理解する。 各様式に適した献立作成や供応に伴うマナーやサービスの技術を身に付ける。 	<p>1. 日本料理の様式</p> <p>2. 西洋料理の様式</p> <p>3. 中国料理の様式</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、資料集、ワークシート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の特徴や献立構成について理解している。 各様式別料理の作法に関するマナーやサービスを身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べる人に配慮した献立やサービスの方法について判断することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各様式別料理の献立や作法について興味を持ち、具体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
	<p>② テーブルコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> テーブルコーディネートの基本をふまえ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や環境作りの技術を身に付ける。 各様式別料理のテーブルコーディネートの基本を理解し、実践できるようにする。 	<p>1. テーブルコーディネートとは</p> <p>2. テーブルコーディネートを考える手順</p> <p>3. 五感にうったえる要素</p> <p>4. 日本料理のコーディネート</p> <p>5. 西洋料理のコーディネート</p> <p>6. 中国料理のコーディネート</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、資料集、ワークシート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じたテーブルコーディネートの技術を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事のテーマに応じた色彩や照明、小物、食卓花など、食事空間の演出を判断し、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節や食事の目的をふまえて、食卓を意欲的に演出しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>第6章 食育と食育推進活動</p> <p>① 食育推進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の食生活を見直すために、食育の大切さを理解する。 食育について、家庭・学校・地域・企業それぞれの取り組みについて知り、主体的に取り組むことができるようになる。 	<p>1. 食育基本法</p> <p>2. 食育の推進体制</p> <p>3. 家庭、学校、地域等における食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、資料集、ワークシート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育基本法、食育推進計画等の目的や概要を理解している。 家庭、学校、地域等の食育活動に関連する情報を収集・整理している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食と生活の関わりを、郷土料理や季節などを意識しながら考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育を家庭、地域、企業はどのように推進しようとしているかに意識、関心を持ち、主体的に考えようとしている。 	○	○	○	2
	<p>② 食文化を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 食は生活と密着したものであり、地域やライフスタイルに合わせて多様な文化を作り上げてきたことを知る。 郷土料理など、日本の食文化について知り、継承の担い手としての意識をもつ。 	<p>1. 食と文化のかかわり</p> <p>2. 日本の食文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、資料集、ワークシート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食は人類が長い歴史をかけて発達させてきたものであることを知り、日本の食文化とライフスタイルについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和食の特徴や食文化の伝承について考え、課題を見出している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育に関する活動を、ホームプロジェクトや学校家庭クラブにつなげて行おうとしている。 	○	○	○	4
	<p>③ 食と環境について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の食料自給率の現状と問題点について理解する。 食品ロスの影響を理解し、自分や社会が取り組むべき問題について考える。 	<p>1. 食品はどこから来るのか</p> <p>2. 食品とごみ問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材 教科書、資料集、ワークシート 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロスの原因を理解しているとともに、食品ロス削減に関する取り組みの情報を収集・整理している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロスに関する課題を考察し、問題点をまとめたり発表したりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食と環境を関連づけて考え、具体的な取り組みにつなげようとしている。 	○	○	○	1
定期考査			○	○		1	
						合計	
						70	

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭

科目 保育基礎

教科： 0

科目： 保育基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組 選択者

教科担当者： 井上、飯塚

使用教科書：（教育図書 保育基礎

教科 0

の目標：

【知識及び技能】 保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 保育基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 ・子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	・子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。	・子どもの発達や保育にかかわる職業について関心を持ち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	保育実習準備 ①エプロンに、フェルトを用いて、名前をアップリケでししゅうする。 花壇作り ②花や野菜の栽培を通して、命の大切さ、成長を喜びを考えさせる。	・ししゅうの基礎 ・ブランケットししゅう ・アップリケ ・季節の花、野菜の栽培	【知識・技能】 刺しゅう作品の製作に用いる技法について理解しているとともに、製作にかかわる技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 様々な技法を用いて、適切な方法で刺しゅうを行おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色遣いや細部を意識し、工夫・改善しながら作ることができている。	○	○	○	6
	子どもの表現活動 読み聞かせと絵本作り 季節の壁面飾り ①子どもの表現活動によって培われる能力について知り、表現活動の重要性や意義を理解する。 ②表現活動で子どもの意欲を引き出し、心身を育むための、保育者としての適切なかかわり方を理解する。	・絵本の読み聞かせ ・絵本作り ・言語表現活動 ・造形表現活動 ・音楽・身体表現活動	【知識・技能】 ・子どもの発達における表現活動の意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・表現活動において、子どもの意欲を引き出すために保育者はどのようにかかわるとよいか、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育施設で行われている表現活動に関心を持ち、積極的に体験しようとしている。	○	○	○	10
	保育実習準備 ①実際に子どもとふれ合うことを通じて、子どもの保育の方法や発達、健康・安全、福祉、遊びについて理解を深める。 ②保育には、子どもの生涯の人格形成の基礎を培う重要な意義があることを理解する。 ③保育者のあるべき姿とはどのようなものかを考える。	保育の意義 ・保育とは何か 7月～8月 近隣保育園にて保育体験	【知識・技能】 ・子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。 ・保育における保護者や保育者の役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 ・保育実習において、子どもの発達や生活の特徴を調査・観察し、まとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えるなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。 ・保育実習において、子どもの発達段階や生活の特徴を意識しながら、積極的に子どもとかわろうとしている。	○	○	○	10
1 子どもの文化の意義 2 子どもの文化を支える場 ①子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生活の実現のために果たす役割や意義を理解する。 ②近年の少子化、高度情報化の影響で、子どもや子ども文化を取り巻く環境に変化が起きていることを知り、それに伴う課題を理解する。	・子どもの文化とは ・子どもの文化の現状 ・児童文化施設	【知識・技能】 ・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・子どもの文化の現状を捉え、今後の課題について考察することができる。	○	○		4	
子どもと遊び ①子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解する。 ②子どもの遊びの内容や時間・場所・仲間などが、近年の社会の変化の影響を受けて変容していることを	・遊びの意義 ・遊びの種類と発達 ・遊びと遊具のかかわり ・遊びの現状 ・紙芝居製作又は人形劇製作 ・製作した作品を保育園で実演する。	【知識・技能】 ・子どもの健やかな発達が遊びによってもたらされることを理解している。 ・おもちゃ作りなどの活動を通して、子どもの遊びの特徴や、保育者としての適切なかかわり方を捉えている。 【思考・判断・表現】					

2 学 期	<p>知り、どのような課題があるか考える。</p> <p>③子どもの遊びに対する、保育者としての適切なかわり方を理解する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃづくりなどの活動を通して、子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。 ・現代の子どもの遊びを取り巻く現状を理解し、課題について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な地域の遊びについて関心をもち、公園などの利用状況や、遊び場を支えるNPO法人などの活動について積極的に調べようとしている。 	○	○	○	10	
	<p>保育の課題1</p> <p>①乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</p> <p>②子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいか考える。</p>	<p>調べ学習、発表</p> <p>・子どもの気持ちに寄り添う保育者とは。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での養育の課題を考察しながら、子どもの心身の安定を図るために、保育者としての月齢・年齢に応じた適切なかわり方を具体的に考え、意見をまとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育を行うためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組む姿勢が見られる。 			○	○	4
	<p>保育の課題2</p> <p>①乳幼児期の子どもの健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</p> <p>②子どもの発達の個人差に配慮しながら、心身の発達を促すために保育者としてどのように接するとよいか考える。</p>	<p>調べ学習、発表</p> <p>発達の個人差を大事にした保育とは。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月齢・年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。 			○	○	4
	<p>保育の課題3</p> <p>①子どもの健康と安全について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</p> <p>②保育施設で起こりうる危険について理解し、保育者として子どもの健康・安全を守るために具体的にどのような対策を取るべきか考える。</p>	<p>調べ学習、発表</p> <p>保育施設での危険をどう防ぐか。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育施設で起こりうる事故について、子どもの発達過程や生活の特徴を踏まえながら考察し、子どもを危険から守るための具体的な方策を提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもたちの自由な生活を確保しつつ事故を防ぐにはどうしたらよいかなど、自分ごととして課題に取り組もうとしている。 			○	○	4
	<p>保育の課題4</p> <p>①子どもの福祉について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。</p> <p>②障がいの有無や貧困・虐待、国籍の違いなど、多様な事情・背景をもつ家庭や子どもたちが十分な保育サービスを受けるために必要な施策を考える。</p>	<p>調べ学習、発表</p> <p>すべての子どもに充実した保育を。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもが充実した保育を受けられるように、保育者としてできることを、個々の家庭の事情などにも配慮しながら具体的に考え、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。 ・保育施設と行政などが連携した子育て支援について関心をもち、自分で情報を収集しようとしている。 			○	○	4
3 学 期	<p>子どもの食事</p> <p>①子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。</p> <p>②食事が生活習慣の確立や心の発達に重要な役割をもつことを認識する。</p> <p>③近年の幼児に関する食事習慣や健康面の課題を知り、家庭や保育施設でどのようなことが求められているか考察する。</p> <p>④幼児食実習や幼児用おやつづくりなど、実習を通じて子どもをイメージする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養と食生活 ・乳児の食事 ・露乳 ・幼児の食事 ・調理実習 おやつ作り 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の食生活の特徴や、発達に必要なエネルギー・栄養素などについて理解している。 ・子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・現代の子どもの食生活の変化について、健康や生活習慣に関する課題を見つけ、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。 ・料理を作る際に、食べやすさや栄養素のバランス、アレルギーに配慮するなど、工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育施設で行われている食育活動などに関心をもち、地域での子どもの食生活にかかわる取り組みについて主体的に情報を収集しようとしている。 ・調理に関心をもち、調理実習に積極的に参加している。 	○	○	○	12	
	<p>まとめ</p> <p>・保育の学習を通じて自分自身の子どもや保育に関する考えがどう変わったか振り返り、成長を実感する。</p>	<p>保育の学習を振り返る</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきた内容を振り返り、保育にかかわる内容をまとめることができる。 ・子どもや保育について、学習前後の自身の考えの変化などをまとめることができる。 ・各章で提示されたSDGsの目標を達成するために、自分自身や社会はどのようなことができるか、話し合ったり、実践したりする。 					

		<p>百つたり、発表したりすることがある。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきた内容を踏まえ、将来自分がどのような形で子どもにかかわっていくかをイメージしようとしている。 		○	○	2
						合計
						70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅱ

教科： 情報 科目： 情報Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 選択者
 教科担当者： 谷川
 使用教科書： （「情報Ⅱ」（東京書籍））

教科 情報 の目標： 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様なコミュニケーションの実現、情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、新たな価値の創造を目指し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会 【知識及び技能】 情報技術の発展と生活の変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報技術が進歩し、情報システムがさまざまな分野で活用されていることを考える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会の法整備や情報モラルについて考え、行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報社会の進展と情報技術 コミュニケーションの多様化 人間の知的活動の影響 【実習】 人工知能と仕事を考える POSシステムを調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 情報システムの活用と、社会への影響を理解できる。 【思考・判断・表現】 情報システムがさまざまな分野で活用されていることを、具体的な例を挙げて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報システムがさまざまな分野で活用されていることに対して意識し、考えようとしている。 	○	○	○	12
	<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ 【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から、適切な情報の表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ソーシャルメディアによる情報発信の特徴と注意点を理解し、活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く、分かりやすいコンテンツ 	<ul style="list-style-type: none"> メディアの特性と利用 コンテンツの制作 コンテンツの発信 【実習】 学校PRプロジェクト 情報のチェックリストを作る 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から、適切な情報の表現を知ることができる。 【思考・判断・表現】 ソーシャルメディアによる情報発信の特徴と注意点を理解し、活用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、分かりやすいコンテンツの制作ができる。 	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンス 【知識及び技能】 データの分類や特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 分析した結果をほかの人に分かりやすいように整理し、考察結果をまとめ説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く資料と向き合い、データを収集し、分析を行おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会にあふれるデータ データベースの管理と操作 データの収集と整理 データの分析を分類 モデルの評価と検証 機械学習と人工知能 【実習】 データを地図上に可視化する データを整理する キーボードの配列研究 星座ランキングの分析 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 データの分類や特性を理解できる。 【思考・判断・表現】 分析した結果をほかの人に分かりやすいように整理し、考察結果をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く資料と向き合い、データを収集し、分析を行っている。 	○	○	○	13
	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム 【知識及び技能】 情報システムの設計の流れや考え方を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 システム開発のための役割を分担し、進捗表を使ってプロジェクト管理を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 システム開発において、責任をもって自らの担当に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム 情報セキュリティ技術 情報システムの設計 情報システムのプログラム 【実習】 ニャプレットを探せ 顔検出とAR体験 小さな情報システム 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 情報システムの設計の流れや考え方を理解できる。 【思考・判断・表現】 システム開発のための役割を分担し、進捗表を使ってプロジェクト管理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 システム開発において、責任をもって自らの担当に取り組んでいる。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムのプログラム 【知識・技能】 人に分かりやすいプログラムを書くことの重要性和、その実現のためのプログラムの書き方を理解する。 【思考・判断・表現】 プログラムの設計や目的に合わせてプログラム言語を選択、判断しようとする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 開発環境の存在や使い方を知り、プログラムを改造したり工夫したりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【実習】 (スクラッチ) 図形を描く ゲームをつくる (Python) プログラミングをはじめよう ゲームをつくってまなぼう まなだことを深めよう 	<ul style="list-style-type: none"> 【知識・技能】 人に分かりやすいプログラムを書くことの重要性和、その実現のためのプログラムの書き方を理解できる。 【思考・判断・表現】 プログラムの設計や目的に合わせてプログラム言語を選択、判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 開発環境の存在や使い方を知り、プログラムを改造したり工夫している。 	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

外国語 科目 ハングル

教科: 外国語 科目: ハングル

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 組~ 組

教科担当者: 石黒みのり

使用教科書: (『Check! Can! Do! 韓国語』(朝日出版社))

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】簡単な表現は聞き取ることができ、やりとりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等】学習した文法及び語彙を積極的に使用し、自ら表現(発信)することができる。

【学びに向かう力、人間性等】韓国語に関心を持つことができる。日本語(母語)との共通点や違いを見つけることができる。

科目 ハングル の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自ら表現(発信)及びやりとりするために、必要な語彙表現を習得する。	自ら表現(発信)するために必要な文法及び語彙を積極的に使用しすることができる。(学習したことを前提に)簡単な表現は聞き取ることができ、やりとりすることができる。	韓国語に関心を持つことができる。学習した表現や文法、単語を通して日本語(母語)との共通点や違いを見つけることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
文字編 Lesson1,2 【知識及び技能】 基本母音・合成母音を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な表現は聞き取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 韓国語に関心を持ち、日本語(母語)との共通点や違いを見つけることができる。	韓国朝鮮語という言葉 韓国語と日本語の共通点 ハングルの構造 韓国語で自己紹介、挨拶 基本母音 合成母音										4
文字編 Lesson3 【知識及び技能】 基本子音を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な単語は聞き取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 韓国語に関心を持ち、日本語(母語)との共通点や違いを見つけることができる。	子音①平音・激音・濃音										6
文字編 Lesson4 【知識及び技能】 パッチムを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な単語は聞き取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 韓国語に関心を持ち、日本語(母語)との共通点や違いを見つけることができる。	子音②パッチム ・口をあけるグループ ・口を閉じるグループ ・舌をつけるグループ										6
文法編 Lesson1 【知識及び技能】 2種類の「~です」、助詞「は」を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な表現は聞き取り、使用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 韓国語に関心を持ち、日本語(母語)との共通点や違いを見つけることができる。	입니다 예요 / 이에요 은/는										4

1
学
期

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 総合的な探究の時 科目 総合

教科： 家庭 科目： 総合

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （ 1～5 組： 井上、塚田、岡本、品田、反町 ）

使用教科書： （ 実教出版 家庭総合 ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 探究の過程において、課題発見と課題解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、フィールドワーク等を活用し情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、地域の未来を考えようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。	社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるように、自己と社会の関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分析して、多面的・多角的に考察する力を養う。	演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「総合的な探求」を学ぶにあたって	オリエンテーション ・「総合的な探求」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。					1
	自分の進路を考える 【知識・技能】 ・希望進路の学問における課題を見つげることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・希望進路の学問における課題を多角的な視点から考えることができる。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・希望進路の学問における課題を見出し、解決策を考えようとする。	・希望進路における学問の実態を調べる。 ・希望職種について考え、今の自分たちには何が出来るか考える。	【知識・技能】 ・希望進路の学問における課題を見つげることができたか。 【思考力、判断力、表現力】 ・希望進路の学問における課題を多角的な視点から考えることができたか。 【主体的な学習に取り組む態度】 ・希望進路の学問における課題を見出し、解決策を考えようとしたか。				12
2 学期	自分の進路と社会の実情を結びつけ① 【知識及び技能】 自分の進路と社会の実情から問題点や改善点を見出す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができる。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から調べ、考える。	・フィールドワークや文献などの調査結果をパワーポイントにまとめる。 ・中間発表を行い、改善策を見つける。	【知識及び技能】 自分の進路と社会の実情から問題点や改善点を見出したか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができたか。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考えようとしたか。				14
	自分の進路と社会の実情を結びつけ② 【知識及び技能】 自分の進路に関する職種・職業の未来について調べ、考える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができる。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考えようとする。	・希望進路に関する職種・職業の実態を知る。 ・希望進路に関する職種・職業の未来について考える。	【知識及び技能】 ・自分の進路に関する職種・職業の未来について調べたか。 ・自分の進路に関する職種・職業の未来について考えたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他者にわかりやすいように発表することができたか。 ・自分が立てた問いに対し、多角的な視点から解決に導くことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の進路に関する職種・職業の未来がより良くなるように、多角的な視点から考えようとしたか。				8
合計							35